

県出資法人等の経営状況報告概要書  
県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

令和5年9月  
大 分 県



本概要書は、今議会提出の議案書の参考資料として「県出資法人等の経営状況報告」及び「県有地の信託に係る事務の処理状況報告」の概要をとりまとめたものです。

### ○県出資法人等の経営状況報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、同法第221条第3項に定める法人について、毎事業年度、その経営状況を説明する書類を作成して、議会に提出することになっています。

#### 地方自治法第243条の3第2項による経営状況報告法人

- 1 県が設立した地方住宅供給公社、土地開発公社及び地方独立行政法人（4法人）
- 2 県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社（19法人）

今議会では、23法人が対象法人に該当し、その経営状況について報告議案として議会に提出します。加えて、当県独自の取組として、平成21年9月に策定した「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」により、指針で定める「指定団体」及び「その他の出資等団体」についてはその経営状況等を各常任委員会で報告し、県庁ホームページ等で公表してきたところです。

なお、「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」の対象となる法人は以下のとおりです。

#### 「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」対象法人（43法人）

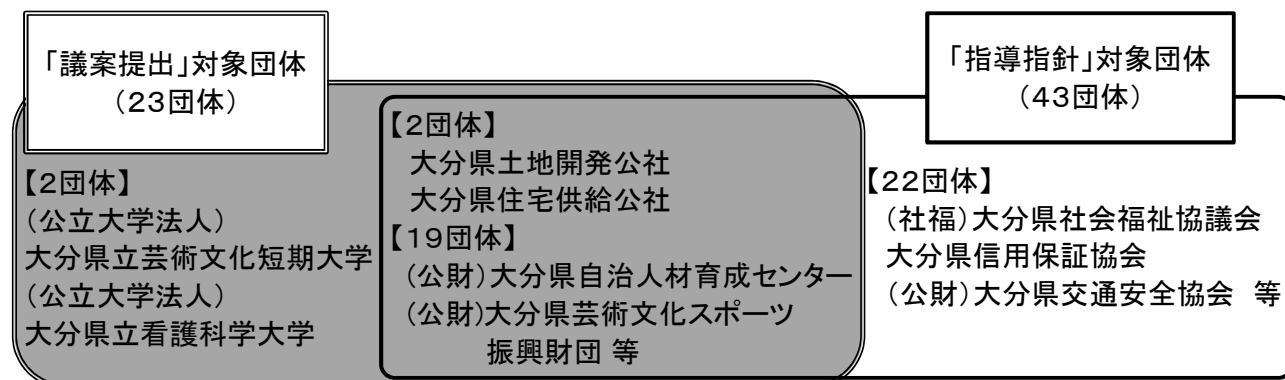
##### 1 「指定団体」（28法人）

- 県の事務と密接な関係を有する事業を行っている団体で、次のいずれかに該当するもの。
- (1) 基本財産、資本金等に県が出資又は出えんを行っており、その比率が25%以上の団体。ただし、地方独立行政法人及び専ら国等が指導を行う団体を除く。
  - (2) 県の補助金、交付金等の額又は委託料の額が、継続的に団体の財政規模の50%以上である団体
  - (3) 県職員を業務援助のため継続的に派遣している団体
  - (4) その他特に指導監督する必要がある団体
- ※ 28法人のうち21法人は地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき議会報告

##### 2 「その他の出資等団体」（15法人）

県からの出資等の比率が25%未満の団体（上記1の（2）から（4）までに掲げるものを除く。）をいう。ただし、地方独立行政法人及び専ら国等が指導を行う団体を除く。

報告議案の法人と「指導指針」対象法人の関係は、下図のとおりです。



### ○県有地の信託に係る事務の処理状況報告について

地方自治法第243条の3第3項の規定に基づき、同法第221条第3項の信託について、信託契約に定める計算期ごとに、当該信託に係る事務の処理状況を説明する書類を作成し議会に提出することになっています。

# 目 次

## I 県出資法人等の経営状況報告概要書

### 「指定団体」

No.	団体名	(所管部局)	ページ
1	(公財)大分県自治人材育成センター	総務部	8
2	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	企画振興部	9
3	大分高速鉄道保有(株)	企画振興部	10
4	大分航空ターミナル(株)	企画振興部	11
5	(社福)大分県社会福祉協議会	福祉保健部	12
6	(公財)大分県地域保健支援センター	福祉保健部	13
7	(公財)大分県臓器移植医療協会	福祉保健部	14
8	(公財)大分県生活衛生営業指導センター	生活環境部	15
9	(公財)大分県産業創造機構	商工観光労働部	16
10	(公財)ハイパーネットワーク社会研究所	商工観光労働部	17
11	(公財)日田玖珠地域産業振興センター	商工観光労働部	18
12	大分ブランドクリエイト(株)	商工観光労働部	19
13	(公財)大分県総合雇用推進協会	商工観光労働部	20
14	(公社)ツーリズムおおいた	商工観光労働部	21
15	(公社)大分県農業農村振興公社	農林水産部	22
16	(一財)大分県主要農作物改善協会	農林水産部	23
17	(一社)大分県農業会議	農林水産部	24
18	(公社)大分県畜産協会	農林水産部	25
19	(公財)森林ネットおおいた	農林水産部	26
20	(公社)大分県漁業公社	農林水産部	27
21	(公財)大分県建設技術センター	土木建築部	28
22	大分県土地開発公社	土木建築部	29
23	(株)大分国際貿易センター	土木建築部	30
24	大分県住宅供給公社	土木建築部	31
25	(公財)大分県奨学会	教育庁	32
26	(公財)大分県スポーツ協会	教育庁	33
27	(公財)大分県暴力追放運動推進センター	警察本部	34
28	(公財)大分県交通安全協会	警察本部	35

### 「その他の出資等団体」

No.	団体名	(所管部局)	ページ
1	(株)大分フットボールクラブ	企画振興部	36
2	(株)別府交通センター	企画振興部	37
3	(一財)大分県自動車会議所	企画振興部	38
4	(公財)大分県アイバンク協会	福祉保健部	39
5	(公財)大分県環境管理協会	生活環境部	40
6	大分県信用保証協会	商工観光労働部	41
7	(株)大分放送	商工観光労働部	42
8	大分朝日放送(株)	商工観光労働部	43
9	(株)エフエム大分	商工観光労働部	44
10	大分県デジタルネットワークセンター(株)	商工観光労働部	45
11	大分県農業信用基金協会	農林水産部	46
12	(公社)大分県園芸振興基金協会	農林水産部	47
13	(株)大分県畜産公社	農林水産部	48
14	周防灘フェリー(株)	農林水産部	49
15	(公財)大分県防犯協会	警察本部	50

### II 地方独立行政法人（公立大学法人）の経営状況報告概要書

1	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学	企画振興部	52
2	公立大学法人大分県立看護科学大学	福祉保健部	54

### III 県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

1	県有地の信託	商工観光労働部	57
---	--------	---------	----

(注意)

損益計算書（正味財産増減計算書）及び貸借対照表等の合計については、四捨五入のため一致しない場合があります。



# I 県出資法人等の 経営状況報告概要書

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体01

(課・室名) 人事課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県自治人材育成センター 会長 中野 五郎																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,000千円 50.0% 6,000千円																																																		
3	事業内容	1 県内自治体職員に対する研修の実施 2 県内自治体が実施する研修に対する支援 3 研修に関する調査研究 4 地域の人材育成の取組に対する支援 5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業																																																		
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>139,932</td> <td>資産</td> <td>572,113</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>139,845</td> <td>流動資産</td> <td>7,841</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>87</td> <td>固定資産</td> <td>564,273</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>7,841</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>7,841</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>87</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>564,273</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲22,707</td> <td>指定正味財産</td> <td>564,273</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>564,273</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲22,707</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※当期正味財産増減額▲22,707千円は、建物建設時に一括計上した県負担金及び市町村補助金収入の一部の取り崩し(減価償却費に充当)等によるもの</p>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	139,932	資産	572,113	経常費用	139,845	流動資産	7,841	当期経常増減額	87	固定資産	564,273	経常外収益	0	負債	7,841	経常外費用	0	流動負債	7,841	当期経常外増減額	0	固定負債	0	法人税等	87	正味財産(純資産)	564,273	当期一般正味財産増減額	0	一般正味財産	0	当期指定正味財産増減額	▲22,707	指定正味財産	564,273	正味財産期末残高	564,273			当期正味財産増減額	▲22,707		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																		
経常収益	139,932	資産	572,113																																																	
経常費用	139,845	流動資産	7,841																																																	
当期経常増減額	87	固定資産	564,273																																																	
経常外収益	0	負債	7,841																																																	
経常外費用	0	流動負債	7,841																																																	
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																																	
法人税等	87	正味財産(純資産)	564,273																																																	
当期一般正味財産増減額	0	一般正味財産	0																																																	
当期指定正味財産増減額	▲22,707	指定正味財産	564,273																																																	
正味財産期末残高	564,273																																																			
当期正味財産増減額	▲22,707																																																			
5	問題点及び懸案事項	研修内容の充実や県・市町村職員同士のネットワークづくりを促進するとともに、効率的な組織運営を図っていく必要がある。																																																		
6	対策及び処理状況	1 オンライン方式の活用など受講生が参加しやすい環境整備に努めるとともに、合同研修の内容充実により、県と市町村職員のネットワークづくりを促進する。 2 フォローアップ調査により、研修の効果測定を行った上で、研修内容の改善を図る。 3 市町村研修担当課との緊密な連携を図り、研修効果が最大限発揮される効率的な組織となるよう継続的に見直しを行っていく。																																																		



# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体02

(課・室名) 芸術文化スポーツ振興課

項	目	概	要	等																																						
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 理事長 広瀬 勝貞																																								
2	県出資金	504,013千円																																								
	出資比率	100.0%																																								
	資本金等の総額	504,013千円																																								
3	事業内容	1 i i c h i k o総合文化センター（大分県立総合文化センター）及び大分県立美術館を拠点とした芸術文化振興事業 2 県民と外国人の相互理解と友好親善を図るための国際交流事業 3 県民のスポーツ意識の向上と多様な交流の場の創造を目的としたスポーツの振興に関する事業 4 地域の活性化を図るための事業 5 公益目的事業以外の施設提供事業及び駐車場運営事業 等																																								
4	4年度決算状況	○正味財産増減計算書（千円） <table style="display: inline-table; vertical-align: top; margin-right: 20px;"> <tr><td>経常収益</td><td>1,227,430</td></tr> <tr><td>経常費用</td><td>1,242,439</td></tr> <tr><td>当期経常増減額</td><td>▲15,009</td></tr> <tr><td>経常外収益</td><td>0</td></tr> <tr><td>経常外費用</td><td>175</td></tr> <tr><td>当期経常外増減額</td><td>▲175</td></tr> <tr><td>当期一般正味財産増減額</td><td>▲15,184</td></tr> <tr><td>当期指定正味財産増減額</td><td>▲110,067</td></tr> <tr><td>正味財産期末残高</td><td>741,755</td></tr> <tr><td>当期正味財産増減額</td><td>▲125,251</td></tr> </table> ○貸借対照表（千円） <table style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <tr><td>資産</td><td>872,420</td></tr> <tr><td>流動資産</td><td>109,443</td></tr> <tr><td>固定資産</td><td>762,977</td></tr> <tr><td>負債</td><td>130,665</td></tr> <tr><td>流動負債</td><td>110,234</td></tr> <tr><td>固定負債</td><td>20,431</td></tr> <tr><td>正味財産（純資産）</td><td>741,755</td></tr> <tr><td>一般正味財産</td><td>117,358</td></tr> <tr><td>指定正味財産</td><td>624,397</td></tr> </table>			経常収益	1,227,430	経常費用	1,242,439	当期経常増減額	▲15,009	経常外収益	0	経常外費用	175	当期経常外増減額	▲175	当期一般正味財産増減額	▲15,184	当期指定正味財産増減額	▲110,067	正味財産期末残高	741,755	当期正味財産増減額	▲125,251	資産	872,420	流動資産	109,443	固定資産	762,977	負債	130,665	流動負債	110,234	固定負債	20,431	正味財産（純資産）	741,755	一般正味財産	117,358	指定正味財産	624,397
経常収益	1,227,430																																									
経常費用	1,242,439																																									
当期経常増減額	▲15,009																																									
経常外収益	0																																									
経常外費用	175																																									
当期経常外増減額	▲175																																									
当期一般正味財産増減額	▲15,184																																									
当期指定正味財産増減額	▲110,067																																									
正味財産期末残高	741,755																																									
当期正味財産増減額	▲125,251																																									
資産	872,420																																									
流動資産	109,443																																									
固定資産	762,977																																									
負債	130,665																																									
流動負債	110,234																																									
固定負債	20,431																																									
正味財産（純資産）	741,755																																									
一般正味財産	117,358																																									
指定正味財産	624,397																																									
5	問題点及び懸案事項	1 県立総合文化センター及び県立美術館において、県民の幅広いニーズに応えられる多様で質の高い芸術文化事業の展開と健全な財政運営の両立が求められている。 2 「出会いと融合」「ネットワーク」をベースとした大分県の芸術文化の創造と発信を行う必要がある。 3 芸術文化を活用して、教育、福祉などの様々な団体等と連携することにより社会的課題や経済的課題へ対応する必要がある。																																								
6	対策及び処理状況	1 両施設とも新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、県民に本物の芸術文化に触れる機会を提供するため、大規模公演「NDR北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団」や「ポケモン展」等を実施するなど、企画展の開催に努めた。事業実施にあたっては文化事業基金を取り崩したため、当期正味財産期末残高は1億2,525万円減少した。 2 両施設の連携を強化するため、美術館の「iichiko design展」に合わせ、センターで「ピリーバンバンコンサート」を実施した。 3 障がい者芸術文化活動の普及促進を図るため、「おおいた障がい者芸術文化支援センター」の運営を県から受託し、美術館で「障がい者芸術支援センター企画展vol.4」を開催した。																																								

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体03

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																																								
1	法人名及び代表者名	大分高速鉄道保有株式会社 代表取締役 尾野 賢治 (副知事)																																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	196,000千円 82.5% 237,500千円																																																										
3	事業内容	<p>日豊本線高速化事業</p> <p>1 平成13年度～15年度</p> <p>①事業区間 日豊本線 大分駅～佐伯駅 (64.9km)</p> <p>②事業内容 最高速度85km/h→110km/hに必要な工事を行った。(枕木のコンクリート化、曲線改良等)</p> <p>③事業効果 60分→52分 (8分間短縮)</p> <p>④事業費 約23億円</p> <p>2 平成16年度～</p> <p>16年3月に竣工した鉄道施設の管理及び九州旅客鉄道株式会社への貸付け</p> <p>※令和10年度に九州旅客鉄道株式会社が施設を買い上げたうえで出資金を県、九州旅客鉄道株式会社に返還し、清算する予定</p>																																																										
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書 (千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>57,950</td> <td>資産</td> <td>219,704</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>0</td> <td>流動資産</td> <td>10,929</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>57,950</td> <td>固定資産</td> <td>208,775</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>39,587</td> <td>負債</td> <td>119,488</td> </tr> <tr> <td>(うち固定資産税</td> <td>4,604)</td> <td>流動負債</td> <td>46,488</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>18,363</td> <td>固定負債</td> <td>73,000</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>0</td> <td>純資産</td> <td>100,216</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>581</td> <td>資本金</td> <td>237,500</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>17,782</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>17</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲137,284</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>17,765</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>4,250</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>13,515</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		売上高	57,950	資産	219,704	売上原価	0	流動資産	10,929	売上総利益	57,950	固定資産	208,775	販売費及び一般管理費	39,587	負債	119,488	(うち固定資産税	4,604)	流動負債	46,488	営業利益	18,363	固定負債	73,000	営業外収益	0	純資産	100,216	営業外費用	581	資本金	237,500	経常利益	17,782	資本剰余金	0	特別損失	17	利益剰余金	▲137,284	税引前当期純利益	17,765			法人税、住民税及び事業税	4,250			当期純利益	13,515		
○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																										
売上高	57,950	資産	219,704																																																									
売上原価	0	流動資産	10,929																																																									
売上総利益	57,950	固定資産	208,775																																																									
販売費及び一般管理費	39,587	負債	119,488																																																									
(うち固定資産税	4,604)	流動負債	46,488																																																									
営業利益	18,363	固定負債	73,000																																																									
営業外収益	0	純資産	100,216																																																									
営業外費用	581	資本金	237,500																																																									
経常利益	17,782	資本剰余金	0																																																									
特別損失	17	利益剰余金	▲137,284																																																									
税引前当期純利益	17,765																																																											
法人税、住民税及び事業税	4,250																																																											
当期純利益	13,515																																																											
5	問題点及び懸案事項	平成19年の所得税法改正による減価償却期間の延長、平成28年のJR九州株式上場に伴う固定資産税減免措置の終了、平成29年の台風18号により被災した一部所有資産の除却処分等により、清算に向けた収支計画の見直しが必要となっている。																																																										
6	対策及び処理状況	引き続き、安定経営に努めるとともに、上記5に対し清算時期の再検討や管理費の削減等、清算に向けた協議を継続して行っている。																																																										

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体04

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	大分航空ターミナル株式会社 代表取締役社長 工藤 正俊			
2	県出資金	142,500千円			
	出資比率	28.8%			
	資本金等の総額	495,000千円			
3	事業内容	大分空港の旅客・貨物ターミナルビルを利用する航空会社や旅客等に対する施設、設備、サービスの提供			
4	4年度決算状況	○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)	
		売上高	2,622,781	資産	4,827,288
		売上原価	961,926	流動資産	1,527,498
		売上総利益	1,660,855	固定資産	3,299,790
		販売費及び一般管理費	1,429,832	負債	1,756,527
		営業利益	231,023	流動負債	659,039
		営業外収益	55,185	固定負債	1,097,487
		営業外費用	43,277	純資産	3,070,762
		経常利益	242,931	資本金	495,000
		税引前当期純利益	242,931	資本剰余金	0
		法人税、住民税及び事業税	82,000	利益剰余金	2,575,762
		当期純利益	160,931		
		5	問題点及び懸案事項	1 旅客数が落ち込み厳しい経営環境にあった新型コロナウイルス感染症まん延の期間中は、必要最小限の人員にて運営を行ってきたが、急速に回復した国内線乗降客への対応や国際線の運航再開に向けてのカウンター業務、航空機の誘導等を行う要員の人員不足解消が喫緊の課題となっている。 この課題解決に向け、従業員の待遇や労働環境の改善に取り組むとともに、新卒者の採用に限らず中途採用を含む通年での採用活動を積極的に進め、人材の確保・定着に努めていく。	
2 収支については、乗降客数の回復とともに3年ぶりに営業利益で黒字を確保し、当期純利益は、1億6千万円で前期比411.0%となった。					
3 令和5年6月に発覚したコインロッカーの売上金着服事案を受け、責任体制の明確化を図るとともに、現金取扱マニュアルの更新や社員を対象としたコンプライアンス研修の実施など再発防止に取り組んでいる。					
6	対策及び処理状況	1 2023年度は中期経営計画の最終年度を迎え、引き続き「大分の空の玄関口として、お客様満足度の高い地方空港を目指し、地域社会に貢献すること」を基本目標に、5項目の重点課題において一定の成果を上げられるよう取り組むとともに、アフターコロナの環境変化を踏まえた次期中期経営計画を策定する。			
		2 財務面では、令和5年4月の吸収合併により新設した旅行事業部門の立て直しと併せて、今後予定される大型設備投資に備え、資金計画の策定及び確実な利益確保に向け、収益の最大化とコストの最小化に取り組んでいく。			

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体05

(課・室名) 福祉保健企画課

項	目	概	要	等																																		
1	法人名及び代表者名	社会福祉法人大分県社会福祉協議会 会長 草野 俊介																																				
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 15,000千円(特に指導監督する必要がある団体)																																				
3	事業内容	1 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施 2 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 3 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 4 社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修 5 社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言 6 市町村社会福祉協議会の相互の連絡及び事業の調整等																																				
4	4年度決算状況	一般会計(法人全体) ○事業活動計算書(千円) <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: top; margin-right: 20px;"> <tr><td>収益</td><td>846,760</td></tr> <tr><td>  サービス活動</td><td>785,228</td></tr> <tr><td>  サービス活動外</td><td>61,533</td></tr> <tr><td>費用</td><td>798,295</td></tr> <tr><td>  サービス活動</td><td>750,529</td></tr> <tr><td>  サービス活動外</td><td>47,766</td></tr> <tr><td>当期経常増減差額</td><td>48,465</td></tr> </table> ○貸借対照表(千円) <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <tr><td>資産</td><td>16,766,328</td></tr> <tr><td>  流動資産</td><td>971,525</td></tr> <tr><td>  固定資産</td><td>15,794,803</td></tr> <tr><td>負債</td><td>14,163,131</td></tr> <tr><td>  流動負債</td><td>145,026</td></tr> <tr><td>  固定負債</td><td>14,018,105</td></tr> <tr><td>純資産</td><td>2,603,196</td></tr> <tr><td>  うち基本金</td><td>15,544</td></tr> <tr><td>  うち基金</td><td>275,568</td></tr> <tr><td>  うち積立金</td><td>2,085,536</td></tr> </table> ※生活福祉資金貸付事業は、特別会計で経理処理しているため、含めていない。			収益	846,760	サービス活動	785,228	サービス活動外	61,533	費用	798,295	サービス活動	750,529	サービス活動外	47,766	当期経常増減差額	48,465	資産	16,766,328	流動資産	971,525	固定資産	15,794,803	負債	14,163,131	流動負債	145,026	固定負債	14,018,105	純資産	2,603,196	うち基本金	15,544	うち基金	275,568	うち積立金	2,085,536
収益	846,760																																					
サービス活動	785,228																																					
サービス活動外	61,533																																					
費用	798,295																																					
サービス活動	750,529																																					
サービス活動外	47,766																																					
当期経常増減差額	48,465																																					
資産	16,766,328																																					
流動資産	971,525																																					
固定資産	15,794,803																																					
負債	14,163,131																																					
流動負債	145,026																																					
固定負債	14,018,105																																					
純資産	2,603,196																																					
うち基本金	15,544																																					
うち基金	275,568																																					
うち積立金	2,085,536																																					
5	問題点及び懸案事項	1 「経営基盤強化・発展計画2022」に基づき、ガバナンスや法人組織の強化、コスト縮減等の財政基盤強化に取り組み、当期経常増減差額は黒字となったが、今後、総合社会福祉会館の老朽化に伴う施設改修などが見込まれることから、引き続き財政基盤の強化に取り組む必要がある。 2 地域共生社会の実現に向けて、市町村社協や関係団体等へのより効果的な支援など、県社協の果たすべき役割がますます増加していることから、地域福祉を推進する人材の育成・確保等とともに、組織体制の充実に努める必要がある。																																				
6	対策及び処理状況	1 事務の効率化、コスト削減といった経営意識を職員一人ひとりが持てるよう、職員の意識改革に努めるとともに、IT技術等を活用した働き方改革も推進していく。 2 各階層別研修に加え、IT技術やマネジメント能力、情報発信に関するものなど体系的な研修を実施するとともに、優秀な人材の確保に向けて、中堅・若手職員等の計画的な採用に取り組む。																																				

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体06

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県地域保健支援センター 理事長 河野 幸治																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	5,000千円 25.0% 20,000千円																																														
3	事業内容	1 保健医療に関する知識の普及及び啓発 2 保健医療に関する調査研究及び技術の研修 3 結核、がん、循環器疾患及びその他の疾病予防の検診 4 市町村が実施する健康増進事業に対する支援 5 県・市町村その他関係団体への協力 6 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会の支部としての事業																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>666,026</td> <td>資産</td> <td>843,133</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>612,566</td> <td>流動資産</td> <td>326,045</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>53,461</td> <td>固定資産</td> <td>517,089</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>3,021</td> <td>負債</td> <td>292,172</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>100,998</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>3,021</td> <td>固定負債</td> <td>191,174</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>56,482</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>550,961</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲6,300</td> <td>一般正味財産</td> <td>352,686</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>550,961</td> <td>指定正味財産</td> <td>198,275</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>50,182</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)			経常収益	666,026	資産	843,133	経常費用	612,566	流動資産	326,045	当期経常増減額	53,461	固定資産	517,089	経常外収益	3,021	負債	292,172	経常外費用	0	流動負債	100,998	当期経常外増減額	3,021	固定負債	191,174	当期一般正味財産増減額	56,482	正味財産(純資産)	550,961	当期指定正味財産増減額	▲6,300	一般正味財産	352,686	正味財産期末残高	550,961	指定正味財産	198,275	当期正味財産増減額	50,182		
○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																																															
経常収益	666,026	資産	843,133																																													
経常費用	612,566	流動資産	326,045																																													
当期経常増減額	53,461	固定資産	517,089																																													
経常外収益	3,021	負債	292,172																																													
経常外費用	0	流動負債	100,998																																													
当期経常外増減額	3,021	固定負債	191,174																																													
当期一般正味財産増減額	56,482	正味財産(純資産)	550,961																																													
当期指定正味財産増減額	▲6,300	一般正味財産	352,686																																													
正味財産期末残高	550,961	指定正味財産	198,275																																													
当期正味財産増減額	50,182																																															
5	問題点及び懸案事項	1 センターの主要事業である検診車による巡回検診は、人口減少や少子高齢化により、受診者数及び検診収入ともに減少傾向にあることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えの傾向が見られる。 2 令和4年度は、退職給付引当金が退職金要支給額に達したことに伴う退職給付引当金繰入の減少等により、当期正味財産増減額は約5,000万円の増額となった。																																														
6	対策及び処理状況	1 住民検診については、市町村との連携強化により未受診者に対する受診勧奨の拡大を図り、事業所検診については、営業活動の強化により検診業務の新規受託・再受託に努め、受診者数の増加と収益の向上を図っていく。 2 今後も引き続き経営改善に努め、安定的な財政運営を図っていく。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体07

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県臓器移植医療協会 理事長 三股 浩光																																														
2	県出資金	20,000千円																																														
	出資比率	30.1%																																														
2	資本金等の総額	66,500千円																																														
	事業内容	1 県民への移植医療に関する普及啓発事業を行うこと。 2 腎臓提供者と腎臓移植希望者との調整協力事業を行うこと。 3 医療機関の体制支援及び教育事業を行うこと。 4 腎臓移植希望者への情報提供及び腎臓移植登録支援事業を行うこと。 5 移植医療の学術に関する事業を行うこと。 6 臓器移植コーディネーターの設置及び臓器の移植に関する法律に定める臓器の移植医療推進のための協力支援を行うこと。 7 その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>5,731</td> <td>資産</td> <td>70,744</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>5,672</td> <td>流動資産</td> <td>4,094</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>59</td> <td>固定資産</td> <td>66,650</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>59</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>70,615</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">主な収入</td> </tr> <tr> <td>大分県補助金</td> <td>3,244千円</td> </tr> <tr> <td>寄附金(支援型自動販売機等)</td> <td>1,393千円</td> </tr> <tr> <td>賛助会費</td> <td>728千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主な支出</td> </tr> <tr> <td>移植コーディネーター活動費</td> <td>3,783千円</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	5,731	資産	70,744	経常費用	5,672	流動資産	4,094	当期経常増減額	59	固定資産	66,650	経常外収益	0	負債	128	経常外費用	0	流動負債	128	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期正味財産増減額	59	正味財産(純資産)	70,615	主な収入		大分県補助金	3,244千円	寄附金(支援型自動販売機等)	1,393千円	賛助会費	728千円	主な支出		移植コーディネーター活動費	3,783千円
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	5,731	資産	70,744																																													
経常費用	5,672	流動資産	4,094																																													
当期経常増減額	59	固定資産	66,650																																													
経常外収益	0	負債	128																																													
経常外費用	0	流動負債	128																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																													
当期正味財産増減額	59	正味財産(純資産)	70,615																																													
主な収入																																																
大分県補助金	3,244千円																																															
寄附金(支援型自動販売機等)	1,393千円																																															
賛助会費	728千円																																															
主な支出																																																
移植コーディネーター活動費	3,783千円																																															
5	問題点及び懸案事項	1 腎臓提供・移植実績が平成30年以降途絶えていることから、提供病院の院内体制の整備、県民に向けての臓器移植に対する理解の促進、意思表示に係る普及・啓発活動の強化が課題である。 2 収入源の6割弱を県補助金に依存する中で、経営体質の強化のため、自主財源の確保と拡大を図る必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 病院内で臓器提供実施のため体制整備をおこなう院内移植コーディネーターの養成を図るとともに、SNS等を積極的に活用しながら、臓器提供に関する意思表示の推進、臓器移植に対する県民の理解を深めていく。 2 平成25年度から支援型自動販売機の設置活動、26年度から募金箱の設置活動を進めることで自主財源の確保に努めている。 ※自動販売機は大分大学医学部附属病院等9施設に14台設置。 (R3:15台、694千円 → R4:14台、698千円) ※募金箱は35医療機関に設置。(R3:294千円 → R4:343千円)																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体08

(課・室名) 食品・生活衛生課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県生活衛生営業指導センター 理事長 井上 富義																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 40.0% 5,000千円																																																						
3	事業内容	<p>「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」第57条の3に基づき、昭和58年3月に設立した知事指定団体</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活衛生関係営業に対する相談、指導</li> <li>2 情報課整備事業</li> <li>3 後継者育成支援事業</li> <li>4 経営指導のための調査事業</li> <li>5 標準営業約款事業</li> <li>6 クリーニング師研修等事業</li> </ol>																																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>19,467</td> <td>資産</td> <td>14,450</td> </tr> <tr> <td>(うち受取補助金)</td> <td>(17,327)</td> <td>流動資産</td> <td>2,664</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>20,438</td> <td>固定資産</td> <td>11,787</td> </tr> <tr> <td>(うち事業費)</td> <td>(18,915)</td> <td>負債</td> <td>2,307</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲971</td> <td>流動負債</td> <td>1,357</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>79</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>12,144</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲79</td> <td>一般正味財産</td> <td>7,144</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲1,049</td> <td>指定正味財産</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>12,144</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲1,049</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	19,467	資産	14,450	(うち受取補助金)	(17,327)	流動資産	2,664	経常費用	20,438	固定資産	11,787	(うち事業費)	(18,915)	負債	2,307	当期経常増減額	▲971	流動負債	1,357	経常外収益	0	固定負債	950	経常外費用	79	正味財産(純資産)	12,144	当期経常外増減額	▲79	一般正味財産	7,144	当期一般正味財産増減額	▲1,049	指定正味財産	5,000	当期指定正味財産増減額	0			正味財産期末残高	12,144			当期正味財産増減額	▲1,049		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
経常収益	19,467	資産	14,450																																																					
(うち受取補助金)	(17,327)	流動資産	2,664																																																					
経常費用	20,438	固定資産	11,787																																																					
(うち事業費)	(18,915)	負債	2,307																																																					
当期経常増減額	▲971	流動負債	1,357																																																					
経常外収益	0	固定負債	950																																																					
経常外費用	79	正味財産(純資産)	12,144																																																					
当期経常外増減額	▲79	一般正味財産	7,144																																																					
当期一般正味財産増減額	▲1,049	指定正味財産	5,000																																																					
当期指定正味財産増減額	0																																																							
正味財産期末残高	12,144																																																							
当期正味財産増減額	▲1,049																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>長期化するコロナ禍の影響により事業継続や資金繰りが厳しい事業者に対する継続的な支援が求められる。</p> <p>事業者に対する効率的な指導、情報発信を行うために必要な組合加入率は、依然として低水準であり、組合加入の促進が必要である。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>弁護士、税理士、社会保険労務士等により構成されるサポートチームと連携しながら、融資や各種補助金活用のための相談指導などの事業者支援を積極的に行うとともに、組合とも連携しながら、支援ニーズの把握や事業者への必要な情報提供などを行っている。</p> <p>また、組合加入のメリット等を記載したパンフレットを作成し、新規開業者や講習会参加者へ配布するとともに、事業者に対する丁寧な相談指導を行い、組合への加入促進を図っている。</p>																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体09

(課・室名) 工業振興課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県産業創造機構 理事長 吉村 恭彰																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	206,000千円 23.4% 881,520千円																																														
3	事業内容	1 経営課題に対する総合相談及び指導 2 取引の振興及び販路拡大の支援 3 新事業・新技術の創出支援 4 人材育成支援 5 産業、経済等に関する調査研究及び情報提供																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>502,477</td> <td>資産</td> <td>7,338,573</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>505,270</td> <td>流動資産</td> <td>254,188</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲2,792</td> <td>固定資産</td> <td>7,084,385</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>810</td> <td>負債</td> <td>6,066,462</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>154,647</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>810</td> <td>固定負債</td> <td>5,911,815</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲1,982</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,272,111</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲17,753</td> <td>一般正味財産</td> <td>348,362</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,272,111</td> <td>指定正味財産</td> <td>923,749</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲19,736</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	502,477	資産	7,338,573	経常費用	505,270	流動資産	254,188	当期経常増減額	▲2,792	固定資産	7,084,385	経常外収益	810	負債	6,066,462	経常外費用	0	流動負債	154,647	当期経常外増減額	810	固定負債	5,911,815	当期一般正味財産増減額	▲1,982	正味財産(純資産)	1,272,111	当期指定正味財産増減額	▲17,753	一般正味財産	348,362	正味財産期末残高	1,272,111	指定正味財産	923,749	当期正味財産増減額	▲19,736		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	502,477	資産	7,338,573																																													
経常費用	505,270	流動資産	254,188																																													
当期経常増減額	▲2,792	固定資産	7,084,385																																													
経常外収益	810	負債	6,066,462																																													
経常外費用	0	流動負債	154,647																																													
当期経常外増減額	810	固定負債	5,911,815																																													
当期一般正味財産増減額	▲1,982	正味財産(純資産)	1,272,111																																													
当期指定正味財産増減額	▲17,753	一般正味財産	348,362																																													
正味財産期末残高	1,272,111	指定正味財産	923,749																																													
当期正味財産増減額	▲19,736																																															
5	問題点及び懸案事項	1 地域を取り巻く環境が変化する中、県内中小企業の新たな活力創造と競争力強化を推進する「中核的支援機関」としての役割を効果的に発揮するため、機構が果たすべき役割の常なる検証と、持続性のある経営基盤の安定化を図ることが重要。 2 低金利で基金運用収入の増加が見込めない中、外部資金等の収入確保に努める必要がある。また、支援機関としての機能の確保と質の向上を図るため、優秀な職員の確保と育成に努める必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 「イノベーション支援」等3つの柱を掲げた第三期中期経営計画(R2~4)に取り組んだ結果、令和4年度は、計画に定める活動・成果指標の達成状況について、40件中34件が数値目標を達成し、計画の着実な推進を図ることができた。 令和5年度は、地域経済の再活性化が一層本格化するのに併せ、DXの推進を共通の柱として、5つの新事業戦略に取り組むとともに、引き続き商工団体等の支援機関や金融機関と緊密に連携し、多様化・複雑化する経営課題の解決を支援する。 2 経営基盤の安定化に向け、特別会員の増加や国の委託事業等外部資金の獲得など、収支均衡に向けた取組を強化する。																																														



# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体10

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	150,000千円 35.0% 429,000千円		
3	事業内容	1 ハイパーネットワーク社会に関する調査・研究及び実証実験 2 ハイパーネットワーク社会に関する研究発表会等の開催 3 ハイパーネットワーク社会に関する情報の収集及び提供 4 ハイパーネットワーク社会に関する市民や組織を対象にした情報化の普及啓発及びコンサルティング 5 ハイパーネットワーク社会構築推進のための企画及び運営 6 ハイパーネットワーク社会に関する内外関係機関等との交流及び協力		
4	4年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 205,458 経常費用 199,245 当期経常増減額 6,213 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期一般正味財産増減額 6,213 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 423,059 当期正味財産増減額 6,213	○貸借対照表(千円) 資産 498,669 流動資産 95,882 固定資産 402,787 負債 75,610 流動負債 75,610 固定負債 0 正味財産(純資産) 423,059 一般正味財産 24,059 指定正味財産 399,000	
5	問題点及び懸案事項	令和4年度決算は、国の継続事業を受注したことにより、2期ぶりの黒字となった。また、AI等の先端技術を活用した企業の課題解決や学校のICT教育支援など、前年度に新規獲得した事業を引き続き獲得することができた。 今後も、国関連事業や市町村・企業からの事業の受託や経費の節減等により、収入の多角化及び安定した経営基盤の確立を図る必要がある。		
6	対策及び処理状況	1 既存事業の継続確保や新規事業の獲得に加え、企業訪問等により賛助会員企業の拡大に努めるなど、経営基盤の一層の強化を図る。 2 今後も定期的なモニタリングを継続的に行い、中期経営計画に沿って、経営基盤強化に向けた取組を明確化する。		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体11

(課・室名) 商業・サービス業振興課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人日田玖珠地域産業振興センター 理事長 原田 啓介		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,600千円 32.0% 5,000千円		
3	事業内容	1 日田玖珠地域の地場産業に対する支援及び地場産品、日田家具の販促活動に関する事業の実施 2 日田玖珠地域産業振興センターにおける地場産品の展示販売 3 Yahoo!ショッピングの「HITA SHOP」や自社通販サイト「ひたマルシェ.com」による地場産品のインターネット販売 4 ふるさと納税返礼品の発送業務 5 日田玖珠地域産業振興センター内の会議室等貸出し		
4	4年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 73,694 経常費用 64,206 当期経常増減額 9,488 経常外収益 0 経常外費用 5,608 当期経常外増減額 ▲5,608 当期一般正味財産増減額 3,880 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 460,163 当期正味財産増減額 3,880 ○貸借対照表(千円) 資産 479,084 流動資産 65,218 固定資産 413,866 負債 18,921 流動負債 16,237 固定負債 2,684 正味財産(純資産) 460,163 一般正味財産 455,163 指定正味財産 5,000		
5	問題点及び懸案事項	1 公益事業比率が44.8%(R3:35%)と改善されたが、公益法人として遵守しなければならない公益事業比率(全事業の50%以上)に依然として達していない。 2 新型コロナウイルス感染症まん延に伴う規制の緩和による来客者数増加と物産イベント開催により実績が上がった公益事業もあるが、これまで当センターが受託していた収益事業の一部を市が別の民間法人に委託したため、法人税の還付を除くと実質赤字となっている。		
6	対策及び処理状況	1 日田玖珠地域の産業振興のあり方について、県として、日田市や関係機関と協議し、当センターの活用方法の見直しを行う。 2 県として、公益財団法人としての高い公益性を遵守するために必要な支援を、日田市や関係機関と連携して行う。 3 日田玖珠地域が有する特色ある資源を活用した商品発掘や情報発信に取り組むよう、県として、日田市や関係機関と連携して指導する。		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体12

(課・室名) 商業・サービス業振興課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分ブランドクリエイイト株式会社 代表取締役 安田 恒																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	50,000千円 52.6% 95,000千円																																																						
3	事業内容	大分県フラッグショップ「坐来大分」の運営 1 大分県産の食材を使ったレストランの経営 2 大分県特産品の販売																																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○損益計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>218,706</td> <td>資産</td> <td>105,622</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>61,962</td> <td>流動資産</td> <td>101,300</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>156,745</td> <td>固定資産</td> <td>4,322</td> </tr> <tr> <td>販売費及び 一般管理費</td> <td>141,677</td> <td>負債</td> <td>52,197</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>15,068</td> <td>流動負債</td> <td>25,657</td> </tr> <tr> <td>営業外利益</td> <td>1,166</td> <td>固定負債</td> <td>26,540</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>475</td> <td>純資産</td> <td>53,425</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>15,759</td> <td>資本金</td> <td>77,500</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>900</td> <td>資本準備金</td> <td>17,500</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>16,659</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲41,575</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>363</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>16,297</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	218,706	資産	105,622	売上原価	61,962	流動資産	101,300	売上総利益	156,745	固定資産	4,322	販売費及び 一般管理費	141,677	負債	52,197	営業利益	15,068	流動負債	25,657	営業外利益	1,166	固定負債	26,540	営業外費用	475	純資産	53,425	経常利益	15,759	資本金	77,500	特別利益	900	資本準備金	17,500	税引前当期純利益	16,659	利益剰余金	▲41,575	法人税、住民税及び事業税	363			当期純利益	16,297		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	218,706	資産	105,622																																																					
売上原価	61,962	流動資産	101,300																																																					
売上総利益	156,745	固定資産	4,322																																																					
販売費及び 一般管理費	141,677	負債	52,197																																																					
営業利益	15,068	流動負債	25,657																																																					
営業外利益	1,166	固定負債	26,540																																																					
営業外費用	475	純資産	53,425																																																					
経常利益	15,759	資本金	77,500																																																					
特別利益	900	資本準備金	17,500																																																					
税引前当期純利益	16,659	利益剰余金	▲41,575																																																					
法人税、住民税及び事業税	363																																																							
当期純利益	16,297																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>令和4年度は、コロナ禍からの社会経済の正常化が進む中で客足も戻り、令和3年度の好立地な場所への店舗移転や、コロナ禍の中で取り組んできたランチ営業やオリジナル菓子の開発などが功を奏し、開業以来の最高売上と黒字額を達成した。</p> <p>今後は原材料費高騰に伴う仕入れコスト等の上昇の影響を注視しながら、引き続き累積赤字の解消に向け、集客力の強化と収益の確保に努める必要がある。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>1 日々の食材の仕入れ状況の把握や、メニューの工夫を行いながら食品ロスを軽減するなど、徹底した原価管理に努める。</p> <p>2 大手企業と連携した物産販売やイベントでの出張販売などにより、首都圏における県産品の露出機会を増やすとともに、SNSでの発信や語り部スタッフの研修、地域フェアの開催などにより、大分の情報発信に努め、大分県のフラッグショップとしての機能を一層強化する。</p> <p>3 首都圏における料理業界を目指す県内の高校生や専門学校生等の採用を推進し、人材育成を図る。</p>																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体13

(課・室名) 雇用労働政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県総合雇用推進協会 会長 杉原 正晴																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	753,620千円 70.7% 1,065,492千円																																														
3	事業内容	1 若年者雇用・人材定住促進対策に関する事業 (1) 若年者等の就職に関する事業 (2) 人材定住に関する事業 2 高齢者・障がい者雇用対策に関する事業 (1) 生涯現役社会実現環境整備に関する事業 (2) 高齢者雇用支援に関する事業 (3) 障がい者の雇用促進に関する事業 3 上記2事業の広報啓発に関する事業																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>242,779</td> <td>資産</td> <td>1,199,580</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>238,623</td> <td>流動資産</td> <td>85,815</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>4,157</td> <td>固定資産</td> <td>1,113,766</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>18,809</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>17,760</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>1,049</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>4,157</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,180,771</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲67,561</td> <td>一般正味財産</td> <td>87,099</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,180,771</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,093,673</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲63,405</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 当期正味財産増減額▲63,405千円は、人材定住基金の取り崩しなどによる。</p>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	242,779	資産	1,199,580	経常費用	238,623	流動資産	85,815	当期経常増減額	4,157	固定資産	1,113,766	経常外収益	0	負債	18,809	経常外費用	0	流動負債	17,760	当期経常外増減額	0	固定負債	1,049	当期一般正味財産増減額	4,157	正味財産(純資産)	1,180,771	当期指定正味財産増減額	▲67,561	一般正味財産	87,099	正味財産期末残高	1,180,771	指定正味財産	1,093,673	当期正味財産増減額	▲63,405		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	242,779	資産	1,199,580																																													
経常費用	238,623	流動資産	85,815																																													
当期経常増減額	4,157	固定資産	1,113,766																																													
経常外収益	0	負債	18,809																																													
経常外費用	0	流動負債	17,760																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	1,049																																													
当期一般正味財産増減額	4,157	正味財産(純資産)	1,180,771																																													
当期指定正味財産増減額	▲67,561	一般正味財産	87,099																																													
正味財産期末残高	1,180,771	指定正味財産	1,093,673																																													
当期正味財産増減額	▲63,405																																															
5	問題点及び懸案事項	1 平成28年度から、人材定住基金を活用し、自主事業を安定的に実施することとしたが、雇用促進等に効果的に繋げていく必要がある。 2 県内中小企業の人手不足が深刻化する中、採用意欲のある企業の人材確保を支援するため、若年者の県内就職や高齢者・障がい者の雇用確保をより一層推進する必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 法人の実施する自主事業が「大分県長期総合計画」の推進に積極的な役割を果たし、県や国からの委託事業と相乗効果が発揮できるようにするため、定期的な協議の場を設け、積極的に意見調整を行う。 2 県内企業における採用力向上・職場定着支援のためのセミナー及び合同企業説明会の開催、企業のデジタル求人広告への支援等を行うほか、高齢者・障がい者の雇用推進に取り組む。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体14

(課・室名) 観光政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益社団法人ツーリズムおおいた 会長 和田 久継																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 0千円（県職員を業務援助のために継続的に3名派遣）																																														
3	事業内容	<p>国内外観光宣伝及び観光客の誘致、観光・地域振興事業の実施、観光地の環境整備、観光情報・地域総合情報の提供、観光従事者の資質向上、地域連携DMOとしての調査研究、地域DMO及び関係団体との連絡調整等を実施している。</p> <p>※DMO：観光地域づくりを多様な主体とともに戦略的に取り組む調整機能を備えた法人</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インバウンド推進事業</li> <li>2 国内誘客総合対策事業</li> <li>3 観光マーケティング事業</li> <li>4 県域版DMO推進事業</li> <li>5 広域ツーリズム推進事業 等</li> </ol>																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書（千円）</td> <td></td> <td>○貸借対照表（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>574,062</td> <td>資産</td> <td>252,269</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>564,976</td> <td>流動資産</td> <td>207,183</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>9,086</td> <td>固定資産</td> <td>45,087</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>50</td> <td>負債</td> <td>188,781</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>302</td> <td>流動負債</td> <td>188,781</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲252</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>8,834</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>63,489</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲6,043</td> <td>一般正味財産</td> <td>28,902</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>63,489</td> <td>指定正味財産</td> <td>34,587</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>2,791</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	574,062	資産	252,269	経常費用	564,976	流動資産	207,183	当期経常増減額	9,086	固定資産	45,087	経常外収益	50	負債	188,781	経常外費用	302	流動負債	188,781	当期経常外増減額	▲252	固定負債	0	当期一般正味財産増減額	8,834	正味財産（純資産）	63,489	当期指定正味財産増減額	▲6,043	一般正味財産	28,902	正味財産期末残高	63,489	指定正味財産	34,587	当期正味財産増減額	2,791		
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																														
経常収益	574,062	資産	252,269																																													
経常費用	564,976	流動資産	207,183																																													
当期経常増減額	9,086	固定資産	45,087																																													
経常外収益	50	負債	188,781																																													
経常外費用	302	流動負債	188,781																																													
当期経常外増減額	▲252	固定負債	0																																													
当期一般正味財産増減額	8,834	正味財産（純資産）	63,489																																													
当期指定正味財産増減額	▲6,043	一般正味財産	28,902																																													
正味財産期末残高	63,489	指定正味財産	34,587																																													
当期正味財産増減額	2,791																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>ツーリズム戦略に基づく本県観光振興の牽引役として、各種の企画及び立案ができるよう組織体制強化が不可欠である。</p> <p>また、持続可能な事業実施のため、自主事業収入の確保等、財政基盤の強化も課題である。</p> <p>令和2年度決算業務の際に確認された使途不明金の再発防止策の徹底と信頼回復に向けた取組が急務である。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>県域版DMOプラットフォーム機能やマーケティング機能の確立、魅力ある旅行商品等の開発・販売による自主財源（会費、収益事業）の増強等に取り組み、DMOとしての体制強化を図る。</p> <p>また、使途不明金について、公社等外郭団体チェックリストの活用等による再発防止策を徹底する。</p> <p>県としても、今後の信頼回復に向け、DMOとしての本来の機能・役割を果たせるよう助言、指導を行う。</p>																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体15

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県農業農村振興公社 理事長 工藤 利明		
2	県出資金等 出資比率 資本金等の総額	513,333千円 64.6% 795,000千円		
3	事業内容	1 農地利用の効率化や高度化に関する事業（農地中間管理事業） 2 畜産公共事業 3 担い手対策・就農支援資金貸付事業 4 大規模リース団地整備支援対策事業 5 世界農業遺産に関する事業 6 大分農業文化公園・都市農村交流研修館管理運営受託事業		
4	4年度決算状況	○正味財産増減計算書（千円） ○貸借対照表（千円） 経常収益 1,087,367 資産 8,981,757 経常費用 1,232,099 流動資産 397,538 当期経常増減額 ▲144,731 固定資産 8,584,219 経常外収益 0 負債 6,587,418 経常外費用 29,521 流動負債 1,812,299 当期経常外増減額 ▲29,521 固定負債 4,775,119 法人税等 836 正味財産（純資産） 2,394,339 当期一般正味財産増減額 ▲175,089 一般正味財産 1,499,287 当期指定正味財産増減額 25,000 指定正味財産 895,052 当期正味財産増減額▲150,089 ※主な内訳：大規模リース団地整備支援対策事業 ▲145,175		
5	問題点及び懸案事項	1 農地中間管理事業では、農業経営基盤強化促進法等の改正に伴う市町の地域計画策定への参画など、農地の集積・集約化に向けた取組の加速化が必要である。 2 大規模リース団地整備支援対策事業では、毎年の事業規模等が決算状況を大きく左右する要因となっており、事業量の安定確保と事業量に応じた体制づくりが課題である。 3 るるパークでは、年間の売上額が、平成18年度の指定管理開始以降、最高の実績を記録したものの、目標とする来園者数の達成に向けて、更なる魅力づくりが必要である。		
6	対策及び処理状況	1 農地中間管理事業では、市町における地域計画の策定・実現を図るため、関係機関との連携のもと農地集積コントロール機能を発揮し、農地の集積・集約化に向けた取組を加速化する。 2 大規模リース団地整備支援対策事業では、県・市町との連携のもと、新規実施地区の選定と適正な予算措置により、事業量の安定確保に努める。 3 るるパークでは、四季折々の見所づくりに加え、キャンプ場や遊具の充実等を進め、来園者の増加と満足度の向上を図る。		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体16

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	一般財団法人大分県主要農作物改善協会 代表理事 佐土原 斉																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	8,000千円 40.0% 20,000千円																																														
3	事業内容	1 種子対策事業（主要農作物の種子の確保及び供給等） 2 品質改善対策事業（優良種子の確保）																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書（千円）</td> <td></td> <td>○貸借対照表（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>70,921</td> <td>資産</td> <td>168,241</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>64,294</td> <td>流動資産</td> <td>27,555</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>6,626</td> <td>固定資産</td> <td>140,686</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>6,584</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>3,016</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>3,568</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>6,626</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>161,656</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>161,656</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>161,656</td> <td>指定正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>6,626</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	70,921	資産	168,241	経常費用	64,294	流動資産	27,555	当期経常増減額	6,626	固定資産	140,686	経常外収益	0	負債	6,584	経常外費用	0	流動負債	3,016	当期経常外増減額	0	固定負債	3,568	当期一般正味財産増減額	6,626	正味財産（純資産）	161,656	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	161,656	正味財産期末残高	161,656	指定正味財産	0	当期正味財産増減額	6,626		
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																														
経常収益	70,921	資産	168,241																																													
経常費用	64,294	流動資産	27,555																																													
当期経常増減額	6,626	固定資産	140,686																																													
経常外収益	0	負債	6,584																																													
経常外費用	0	流動負債	3,016																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	3,568																																													
当期一般正味財産増減額	6,626	正味財産（純資産）	161,656																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	161,656																																													
正味財産期末残高	161,656	指定正味財産	0																																													
当期正味財産増減額	6,626																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>稲・麦・大豆の種子確保においては、供給不足や大量の過剰在庫が生じないように計画的な採種に努める必要がある。特に、新品種（稲：なつほのか、麦：ハルアカネ）については、作付推進と連動した種子生産が重要である。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>種子確保については、品種ごとの需要動向を勘案した上で県と連携して計画的な採種を実施するとともに、種子在庫状況については、半期ごとに県に報告している。また、推進品種の拡大に向けて、安定的な種子の確保に努める。</p>																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体17

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等																
1	法人名及び代表者名	一般社団法人大分県農業会議 会長 秋國 崇己																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 0千円 (県の補助金、交付金等の額又は委託料の額が、継続的に団体の財政規模の50%以上である団体)																		
3	事業内容	1 農業委員会等活動強化支援事業 2 機構集積支援事業 3 農業者年金業務委託事業 4 農の雇用事業																		
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 66,023</td> <td>資産 29,636</td> </tr> <tr> <td>経常費用 69,756</td> <td>流動資産 29,636</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 ▲3,732</td> <td>固定資産 0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 ▲3,732</td> <td>負債 26,180</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>流動負債 4,711</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 ▲3,732</td> <td>固定負債 21,468</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正味財産(純資産) 3,456</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)	経常収益 66,023	資産 29,636	経常費用 69,756	流動資産 29,636	当期経常増減額 ▲3,732	固定資産 0	当期一般正味財産増減額 ▲3,732	負債 26,180	当期指定正味財産増減額 0	流動負債 4,711	当期正味財産増減額 ▲3,732	固定負債 21,468		正味財産(純資産) 3,456
○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																			
経常収益 66,023	資産 29,636																			
経常費用 69,756	流動資産 29,636																			
当期経常増減額 ▲3,732	固定資産 0																			
当期一般正味財産増減額 ▲3,732	負債 26,180																			
当期指定正味財産増減額 0	流動負債 4,711																			
当期正味財産増減額 ▲3,732	固定負債 21,468																			
	正味財産(純資産) 3,456																			
5	問題点及び懸案事項	<p>1 基本的に財産を有しない団体であるので、収入のほぼ全額が補助金、委託料、拠出金によってまかなわれており、財政的に厳しいものがある。</p> <p>2 大分県農業会議は、農業委員会のサポート業務を担う「農業委員会ネットワーク機構」として、県の指定(H28～)を受けており、農業委員会に対する支援等の業務について適正な実施が求められている。</p>																		
6	対策及び処理状況	<p>1 国庫補助金・委託料等の予算削減に伴い財政的に厳しい状況となっているが、人件費等の抑制や事務経費の削減を図るとともに、一人あたりの業務効率化を図ることで、引き続き財務体質の強化に努める。</p> <p>2 新任農業委員に対する研修を充実させるなど、資質の向上を図るとともに、農業委員会事務局長会議を開催し、委員会相互のネットワークの強化を図る。</p>																		



# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体18

(課・室名) 畜産振興課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県畜産協会 会長 森 誠一																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	125,000千円 44.9% 278,240千円																																										
3	事業内容	<p>○畜産経営の安定的発展と畜産振興を促進する事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 畜産経営体に対する経営及び技術改善指導等を実施する事業</li> <li>2 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補てんする事業</li> <li>3 消費者ニーズに沿った生産を推進する事業</li> <li>4 家畜衛生対策を推進する事業</li> <li>5 種畜(肉用牛、豚)の改良を推進する事業</li> <li>6 一般消費者に対し畜産への理解を深めてもらうための事業</li> </ol>																																										
4	4年度決算状況	<p>○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>経常収益</td> <td>303,594</td> <td>資産</td> <td>1,617,643</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>298,355</td> <td>流動資産</td> <td>153,244</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>5,239</td> <td>固定資産</td> <td>1,464,399</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>1,242,263</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>40,279</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>1,201,984</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>5,239</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>375,380</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>375,380</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>375,380</td> <td>指定正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>5,239</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			経常収益	303,594	資産	1,617,643	経常費用	298,355	流動資産	153,244	当期経常増減額	5,239	固定資産	1,464,399	経常外収益	0	負債	1,242,263	経常外費用	0	流動負債	40,279	当期経常外増減額	0	固定負債	1,201,984	当期一般正味財産増減額	5,239	正味財産(純資産)	375,380	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	375,380	正味財産期末残高	375,380	指定正味財産	0	当期正味財産増減額	5,239		
経常収益	303,594	資産	1,617,643																																									
経常費用	298,355	流動資産	153,244																																									
当期経常増減額	5,239	固定資産	1,464,399																																									
経常外収益	0	負債	1,242,263																																									
経常外費用	0	流動負債	40,279																																									
当期経常外増減額	0	固定負債	1,201,984																																									
当期一般正味財産増減額	5,239	正味財産(純資産)	375,380																																									
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	375,380																																									
正味財産期末残高	375,380	指定正味財産	0																																									
当期正味財産増減額	5,239																																											
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 飼料価格の高止まりをはじめ、韓国における口蹄疫の発生や子牛市場価格の低調など、畜産農家を巡る情勢は依然不安定な状況にある。</li> <li>2 職員の定年退職を見据えて、令和5年度より1名を新規採用したものの、依然として40歳以上の職員が過半を占めることから、引き続き計画的な人材の確保と育成や自主財源の確保等を行い、経営の安定化を図る必要がある。</li> </ol>																																										
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 引き続き支援事業の拡大による手数料収入等の自主財源の確保を図るほか、畜産業のデジタル化を見据えた体制整備を支援することにより、畜産農家への支援体制の強化を図る。</li> <li>2 計画的な人材採用・育成に加えて、グループウェア等を利用したデジタル化による業務の効率化や公認会計士等の外部人材の活用により、各種支援事業に係る執行体制を強化し、確実な事業展開を図る。</li> </ol>																																										

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体19

(課・室名) 林務管理課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益財団法人森林ネットおおいた 理事長 大友 進一																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,200,000千円 75.0% 4,268,075千円																																										
3	事業内容	1 林業労働力確保促進事業（各種保険等への助成、機械リース等） 2 林業研修事業（林業研修所の指定管理受託、おおいた林業アカデミーの実施） 3 森林整備事業（県営林の管理、森林環境譲与税活用支援センター等） 4 緑化推進事業（緑の募金事業、緑化啓発等） 5 県民の森事業（県民の森の指定管理受託） 6 付帯事業（県営林毎木調査等収益事業）																																										
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>817,753</td> <td>資産</td> <td>5,296,154</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>747,459</td> <td>流動資産</td> <td>797,376</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>70,293</td> <td>固定資産</td> <td>4,498,777</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>3,401</td> <td>負債</td> <td>145,740</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>154</td> <td>流動負債</td> <td>130,040</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>73,540</td> <td>固定負債</td> <td>15,701</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲2,577</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>5,150,413</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>70,963</td> <td>一般正味財産</td> <td>5,150,413</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>指定正味財産</td> <td>0</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	817,753	資産	5,296,154	経常費用	747,459	流動資産	797,376	当期経常増減額	70,293	固定資産	4,498,777	当期経常外増減額	3,401	負債	145,740	法人税等	154	流動負債	130,040	当期一般正味財産増減額	73,540	固定負債	15,701	当期指定正味財産増減額	▲2,577	正味財産(純資産)	5,150,413	当期正味財産増減額	70,963	一般正味財産	5,150,413			指定正味財産	0
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																										
経常収益	817,753	資産	5,296,154																																									
経常費用	747,459	流動資産	797,376																																									
当期経常増減額	70,293	固定資産	4,498,777																																									
当期経常外増減額	3,401	負債	145,740																																									
法人税等	154	流動負債	130,040																																									
当期一般正味財産増減額	73,540	固定負債	15,701																																									
当期指定正味財産増減額	▲2,577	正味財産(純資産)	5,150,413																																									
当期正味財産増減額	70,963	一般正味財産	5,150,413																																									
		指定正味財産	0																																									
5	問題点及び懸案事項	1 令和4年度決算では、効率的な事業実施により、目標を上回る70,963千円の収益を計上している。 2 基本財産の安全かつ効率的な運用と事業の効率化により、引き続き経営の安定化を図る必要がある。  ・経営状況の推移 ①目標及び決算数値（当期正味財産増減額）（単位：千円） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標増減額</td> <td>2,044</td> <td>2,077</td> <td>2,270</td> <td>16,559</td> </tr> <tr> <td>決算増減額</td> <td>12,742</td> <td>10,141</td> <td>40,006</td> <td>70,963</td> </tr> </tbody> </table> ②基本財産の運用益の推移（単位：千円） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金額</td> <td>84,622</td> <td>79,229</td> <td>94,477</td> <td>131,256</td> </tr> </tbody> </table>			年度	R元	R2	R3	R4	目標増減額	2,044	2,077	2,270	16,559	決算増減額	12,742	10,141	40,006	70,963	年度	R元	R2	R3	R4	金額	84,622	79,229	94,477	131,256															
年度	R元	R2	R3	R4																																								
目標増減額	2,044	2,077	2,270	16,559																																								
決算増減額	12,742	10,141	40,006	70,963																																								
年度	R元	R2	R3	R4																																								
金額	84,622	79,229	94,477	131,256																																								
6	対策及び処理状況	中期経営計画（R5～R9）に基づき、引き続き安定した経営に努めるとともに、人材を確保・育成し、機械化林業の推進を図ることにより、事業の持続的な実施が可能な体制を構築する。																																										

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体20

(課・室名) 水産振興課

項	目	概	要	等																																				
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県漁業公社 理事長 高野 英利 (農林水産部審議監)																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	50,000千円 59.2% 84,400千円																																						
3	事業内容	1 放流用種苗の生産・販売及びあっせん 2 養殖用種苗の生産・販売及びあっせん																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>186,433</td> <td>資産</td> <td>118,370</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>184,807</td> <td>流動資産</td> <td>88,585</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>1,626</td> <td>固定資産</td> <td>29,785</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>30</td> <td>負債</td> <td>69,667</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>38,813</td> <td>流動負債</td> <td>16,004</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲38,783</td> <td>固定負債</td> <td>53,663</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>121</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>48,703</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲37,278</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※当期正味財産増減額▲37,278千円の主な要因 ・施設の解体費 38,813千円</p>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	186,433	資産	118,370	経常費用	184,807	流動資産	88,585	当期経常増減額	1,626	固定資産	29,785	経常外収益	30	負債	69,667	経常外費用	38,813	流動負債	16,004	当期経常外増減額	▲38,783	固定負債	53,663	法人税等	121	正味財産(純資産)	48,703	当期正味財産増減額	▲37,278		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																						
経常収益	186,433	資産	118,370																																					
経常費用	184,807	流動資産	88,585																																					
当期経常増減額	1,626	固定資産	29,785																																					
経常外収益	30	負債	69,667																																					
経常外費用	38,813	流動負債	16,004																																					
当期経常外増減額	▲38,783	固定負債	53,663																																					
法人税等	121	正味財産(純資産)	48,703																																					
当期正味財産増減額	▲37,278																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>1 令和2年度及び令和3年度に続き、国東事業場の建て替えに伴う解体工事費を捻出したことから、当期正味財産増減額は▲37,278千円となったが、当期経常増減額は1,626千円と8年連続で黒字を確保している。 引き続き建替工事の効率的な執行や通常経費の削減に努める必要がある。</p> <p>2 建替工事を行いながら業務を継続することから、着実な種苗生産を行う必要がある。</p>																																						
6	対策及び処理状況	<p>1 建替工事の効率的な執行を図るとともに、高騰する光熱費や材料費の節減など職員のコスト意識の徹底により経費削減を図る。</p> <p>2 建替工事と種苗生産との綿密なスケジュール調整により、安定した種苗生産体制を確保する。</p>																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体21

(課・室名) 建設政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県建設技術センター 理事長 島津 恵造																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	20,000千円 66.7% 30,000千円																																														
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会資本の整備及び県土づくりを担う人材育成に向けた技術・技能の研修、普及啓発及び情報提供事業</li> <li>2 社会資本の整備や維持管理、県土づくり等に関する技術相談及び積算、技術審査、品質監理、検査等に係る支援事業</li> <li>3 社会資本の品質確保に係る各種材料試験及び調査研究事業</li> <li>4 社会資本の情報化へ向けての支援事業</li> <li>5 その他目的を達成するために必要な事業</li> </ol>																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>518,400</td> <td>資産</td> <td>1,724,600</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>403,691</td> <td>流動資産</td> <td>282,931</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>114,709</td> <td>固定資産</td> <td>1,441,669</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>23</td> <td>負債</td> <td>168,627</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>71,222</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>23</td> <td>固定負債</td> <td>97,406</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>114,732</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,555,973</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>1,525,973</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,555,973</td> <td>指定正味財産</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>114,732</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	518,400	資産	1,724,600	経常費用	403,691	流動資産	282,931	当期経常増減額	114,709	固定資産	1,441,669	経常外収益	23	負債	168,627	経常外費用	0	流動負債	71,222	当期経常外増減額	23	固定負債	97,406	当期一般正味財産増減額	114,732	正味財産(純資産)	1,555,973	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	1,525,973	正味財産期末残高	1,555,973	指定正味財産	30,000	当期正味財産増減額	114,732		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	518,400	資産	1,724,600																																													
経常費用	403,691	流動資産	282,931																																													
当期経常増減額	114,709	固定資産	1,441,669																																													
経常外収益	23	負債	168,627																																													
経常外費用	0	流動負債	71,222																																													
当期経常外増減額	23	固定負債	97,406																																													
当期一般正味財産増減額	114,732	正味財産(純資産)	1,555,973																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	1,525,973																																													
正味財産期末残高	1,555,973	指定正味財産	30,000																																													
当期正味財産増減額	114,732																																															
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 建設産業従事者の減少を踏まえ、県土づくりを担う建設人材の育成と技術力の向上に資するよう、更なる研修内容の充実に努める必要がある。</li> <li>2 公益財団法人として安定的な法人運営を継続しながら、県及び市町村の支援・補完機関として、更なる体制や連携の強化を図る必要がある。</li> </ol>																																														
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 民間建設業関係者も含めた技術・技能向上のための研修事業の充実に取り組む。</li> <li>2 県・市町村の支援・補完機関として、相談業務、積算業務、施工監理、技術者育成、災害等・緊急時の支援など、ニーズに合わせた的確な事業を実施する。特に、県・市町村が共同利用する積算システムの運営に取り組み、一括管理による積算業務の効率化や災害発生時の応援体制の円滑化を図る。</li> </ol>																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体22

(課・室名) 用地対策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県土地開発公社 理事長 山本 修司																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	30,000千円 100% 30,000千円																																																		
3	事業内容	<p>国、地方公共団体の委託等に基づく道路、公園、その他公共施設等に要する土地の取得、造成、管理及び売却等</p> <p>1 公有地取得・売却事業（道路、公園等の用地買収、売却等） 2 土地造成・売却事業（工業団地等の造成、管理、売却等） 3 あっせん等事業（用地取得のあっせん、調査、測量等） 4 関連施設整備事業（公共施設又は公用施設の整備）</p>																																																		
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>5,422,791</td> <td>資産</td> <td>9,193,378</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>5,387,472</td> <td>流動資産</td> <td>8,875,516</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>35,319</td> <td>固定資産</td> <td>317,862</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>24,278</td> <td>負債</td> <td>7,619,773</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>11,040</td> <td>流動負債</td> <td>2,857,697</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>6,308</td> <td>固定負債</td> <td>4,762,076</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>0</td> <td>純資産</td> <td>1,573,605</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>17,348</td> <td>資本金</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>199</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>10,877</td> <td>利益剰余金</td> <td>1,543,605</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>6,670</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	5,422,791	資産	9,193,378	売上原価	5,387,472	流動資産	8,875,516	売上総利益	35,319	固定資産	317,862	販売費及び一般管理費	24,278	負債	7,619,773	営業利益	11,040	流動負債	2,857,697	営業外収益	6,308	固定負債	4,762,076	営業外費用	0	純資産	1,573,605	経常利益	17,348	資本金	30,000	特別利益	199	資本剰余金	0	特別損失	10,877	利益剰余金	1,543,605	当期純利益	6,670		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	5,422,791	資産	9,193,378																																																	
売上原価	5,387,472	流動資産	8,875,516																																																	
売上総利益	35,319	固定資産	317,862																																																	
販売費及び一般管理費	24,278	負債	7,619,773																																																	
営業利益	11,040	流動負債	2,857,697																																																	
営業外収益	6,308	固定負債	4,762,076																																																	
営業外費用	0	純資産	1,573,605																																																	
経常利益	17,348	資本金	30,000																																																	
特別利益	199	資本剰余金	0																																																	
特別損失	10,877	利益剰余金	1,543,605																																																	
当期純利益	6,670																																																			
5	問題点及び懸案事項	<p>1 毎年度増減する国、県、市町村の用地取得事業等に対し、公社の有する専門性とノウハウを活用し、各事業主体を効率的にサポートするためにも、事業を安定的に受託することが課題である。</p> <p>2 大分北部中核工業団地（全28区画）の残る2区画と、平成30年度に造成工事が完了した玖珠工業団地（全2区画）の残る1区画について、早期売却を図る必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 平成29年度に県と公社で向こう5カ年の中期事業計画を策定し、以降毎年度、事業量を見直し、計画を更新している。今後も更新を継続し、計画的かつ効率的な業務執行体制を整備し、事業を実施していく。</p> <p>2 公社保有の工業用地については、県の事業所管課と連携して売却促進に努める。</p>																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体23

(課・室名) 港湾課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社大分国際貿易センター 代表取締役社長 藤澤 崇資																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	180,000千円 27.3% 659,000千円																																																						
3	事業内容	1 大分国際貿易センタービル、冷凍冷蔵倉庫、食品流通加工センターなど不動産の賃貸業 2 大分港大在コンテナターミナルの管理運営（指定管理受託） 3 関係機関と連携したポートセールス																																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>131,144</td> <td>資産</td> <td>915,507</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>91,432</td> <td>流動資産</td> <td>700,100</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>39,711</td> <td>固定資産</td> <td>215,407</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>24,243</td> <td>負債</td> <td>59,901</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>15,469</td> <td>流動負債</td> <td>27,417</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>14,719</td> <td>固定負債</td> <td>32,484</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>30,187</td> <td>純資産</td> <td>855,605</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>2,475</td> <td>資本金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>6,175</td> <td>及び資本準備金</td> <td>659,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>26,487</td> <td>利益剰余金</td> <td>196,605</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>8,396</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>18,092</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	131,144	資産	915,507	売上原価	91,432	流動資産	700,100	売上総利益	39,711	固定資産	215,407	販売費及び一般管理費	24,243	負債	59,901	営業利益	15,469	流動負債	27,417	営業外収益	14,719	固定負債	32,484	経常利益	30,187	純資産	855,605	特別利益	2,475	資本金		特別損失	6,175	及び資本準備金	659,000	税引前当期純利益	26,487	利益剰余金	196,605	法人税、住民税及び事業税	8,396			当期純利益	18,092		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																						
売上高	131,144	資産	915,507																																																					
売上原価	91,432	流動資産	700,100																																																					
売上総利益	39,711	固定資産	215,407																																																					
販売費及び一般管理費	24,243	負債	59,901																																																					
営業利益	15,469	流動負債	27,417																																																					
営業外収益	14,719	固定負債	32,484																																																					
経常利益	30,187	純資産	855,605																																																					
特別利益	2,475	資本金																																																						
特別損失	6,175	及び資本準備金	659,000																																																					
税引前当期純利益	26,487	利益剰余金	196,605																																																					
法人税、住民税及び事業税	8,396																																																							
当期純利益	18,092																																																							
5	問題点及び懸案事項	1 冷凍冷蔵倉庫等賃貸施設が整備後26年を経過するなど、所有建物の老朽化が進んでいる。コスト削減などの経営改善により、平成13年度から22期連続して黒字となっているものの、経営の安定化を図る観点から、計画的な維持管理・更新を行う必要がある。 2 令和3年度に着手したコンテナクレーンの更新は8年度の完了を予定しており、工期中も既存設備の安全性と物流の定時性を確保する必要がある。 3 関係機関と連携したポートセールスにより、更なる大在コンテナターミナルの利用促進を図る必要がある。																																																						
6	対策及び処理状況	1 中長期的なトータルコストの縮減・平準化のため、老朽化が進んだ施設の維持管理計画による計画的な施設改修・更新を今後も継続し、安定的な経営を行う。 2 コンテナクレーンの機能停止は航路の休止・撤退に繋がる恐れがあるため、県事業所管部署と連携し、既存設備に係る安全かつ定時サービスの提供と更新事業の着実な実施を図る。 3 今後とも、県等が実施する港湾施設使用料の減免や、条件不利地域等に対する助成制度などを活用し、県や大分市、関係団体と連携したポートセールスに努める。																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体24

(課・室名) 建築住宅課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県住宅供給公社 理事長 山本 修司																																																		
2	県出資金	10,000千円																																																		
	出資比率	100%																																																		
	資本金等の総額	10,000千円																																																		
3	事業内容	<p>主な事業</p> <p>1 受託事業 公営住宅管理受託（大分県、大分市、佐伯市、竹田市、豊後高田市、豊後大野市、臼杵市、杵築市、別府市、中津市、由布市、津久見市）</p> <p>2 賃貸管理事業 公社所有賃貸住宅・施設の管理</p> <p>3 分譲事業 分譲宅地の販売（国東市向陽台）</p>																																																		
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>1,289,126</td> <td>資産</td> <td>3,131,912</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,112,398</td> <td>流動資産</td> <td>784,930</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>176,728</td> <td>固定資産</td> <td>2,346,982</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理</td> <td>62,689</td> <td>負債</td> <td>750,107</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>114,039</td> <td>流動負債</td> <td>338,405</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>332</td> <td>固定負債</td> <td>411,702</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>17,915</td> <td>純資産</td> <td>2,381,805</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>96,456</td> <td>資本金</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>0</td> <td>資本剰余金</td> <td>1,350,896</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>0</td> <td>利益剰余金</td> <td>954,198</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>96,456</td> <td>特定目的積立金</td> <td>66,711</td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	1,289,126	資産	3,131,912	売上原価	1,112,398	流動資産	784,930	売上総利益	176,728	固定資産	2,346,982	販売費及び一般管理	62,689	負債	750,107	営業利益	114,039	流動負債	338,405	営業外収益	332	固定負債	411,702	営業外費用	17,915	純資産	2,381,805	経常利益	96,456	資本金	10,000	特別利益	0	資本剰余金	1,350,896	特別損失	0	利益剰余金	954,198	当期純利益	96,456	特定目的積立金	66,711
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	1,289,126	資産	3,131,912																																																	
売上原価	1,112,398	流動資産	784,930																																																	
売上総利益	176,728	固定資産	2,346,982																																																	
販売費及び一般管理	62,689	負債	750,107																																																	
営業利益	114,039	流動負債	338,405																																																	
営業外収益	332	固定負債	411,702																																																	
営業外費用	17,915	純資産	2,381,805																																																	
経常利益	96,456	資本金	10,000																																																	
特別利益	0	資本剰余金	1,350,896																																																	
特別損失	0	利益剰余金	954,198																																																	
当期純利益	96,456	特定目的積立金	66,711																																																	
5	問題点及び懸案事項	<p>1 公営住宅管理受託者として、入居者に対するサービスの向上、家賃収納率の向上、個人情報の保護など適切な管理を行うとともに、県営・市営住宅の窓口一元化による県民サービスの向上や経費の縮減等の経営努力を行う必要がある。また、未受託の市に対して、新規受託の協議を進める必要がある。</p> <p>2 残された分譲用資産である国東市向陽台分譲宅地の早期売却を図る必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 県営・市営住宅の一体的な管理により、住居相談のワンストップ化など入居サービス水準の向上を図るため、今後も受託事業における公営住宅の管理代行を拡充するとともに、受託済みの市においても、窓口の一元化を進める。また、経営の安定化を図るため、より一層の業務執行の効率化や県民サービスの向上に向けて職員の資質向上に取り組み、適正な管理体制の整備に努める。</p> <p>未受託の市については、各市の状況を考慮しながら、なるべく多くの市から新規受託できるよう協議を進める。なお、令和5年度から新たに国東市営住宅の管理代行を開始したところ。</p> <p>2 戸建住宅用地は残りわずか（全260区画中251区画販売済）であるが、商業施設用地・集合住宅用地（各1区画）は販売の目途が立っていないことから、用途にこだわらず有効活用策について検討を進める。</p>																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体25

(課・室名) 教育財務課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益財団法人 大分県奨学会 理事長 久家 里三																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	475,911千円 23.4% 2,034,173千円																																										
3	事業内容	<p>1 奨学資金の貸与 令和4年度実績 (高等学校等奨学金)</p> <table border="1"> <tr> <td>一般奨学生</td> <td>853人</td> <td>239,471千円</td> </tr> <tr> <td>通学費等奨学金</td> <td>43人</td> <td>2,228千円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費等奨学金</td> <td>70人</td> <td>10,360千円</td> </tr> <tr> <td>入学支度金</td> <td>169人</td> <td>13,550千円</td> </tr> <tr> <td>(大学奨学金)</td> <td>261人</td> <td>149,988千円</td> </tr> </table> <p>2 奨学資金の貸与を受ける学生及び生徒の補導 3 その他目的を達成するために必要な事業</p>			一般奨学生	853人	239,471千円	通学費等奨学金	43人	2,228千円	修学旅行費等奨学金	70人	10,360千円	入学支度金	169人	13,550千円	(大学奨学金)	261人	149,988千円																									
一般奨学生	853人	239,471千円																																										
通学費等奨学金	43人	2,228千円																																										
修学旅行費等奨学金	70人	10,360千円																																										
入学支度金	169人	13,550千円																																										
(大学奨学金)	261人	149,988千円																																										
4	4年度決算状況	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>34,514</td> <td>資産</td> <td>10,740,139</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>33,442</td> <td>流動資産</td> <td>31,077</td> </tr> <tr> <td>評価損益</td> <td>▲64,330</td> <td>固定資産</td> <td>10,709,062</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲65,795</td> <td>負債</td> <td>6,797,516</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>2,559</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲65,795</td> <td>固定負債</td> <td>6,794,957</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>3,942,623</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>3,942,623</td> <td>一般正味財産</td> <td>2,499,910</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲65,795</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,442,712</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	34,514	資産	10,740,139	経常費用	33,442	流動資産	31,077	評価損益	▲64,330	固定資産	10,709,062	当期経常増減額	▲65,795	負債	6,797,516	当期経常外増減額	0	流動負債	2,559	当期一般正味財産増減額	▲65,795	固定負債	6,794,957	当期指定正味財産増減額	0	正味財産(純資産)	3,942,623	正味財産期末残高	3,942,623	一般正味財産	2,499,910	当期正味財産増減額	▲65,795	指定正味財産	1,442,712
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																										
経常収益	34,514	資産	10,740,139																																									
経常費用	33,442	流動資産	31,077																																									
評価損益	▲64,330	固定資産	10,709,062																																									
当期経常増減額	▲65,795	負債	6,797,516																																									
当期経常外増減額	0	流動負債	2,559																																									
当期一般正味財産増減額	▲65,795	固定負債	6,794,957																																									
当期指定正味財産増減額	0	正味財産(純資産)	3,942,623																																									
正味財産期末残高	3,942,623	一般正味財産	2,499,910																																									
当期正味財産増減額	▲65,795	指定正味財産	1,442,712																																									
5	問題点及び懸案事項	<p>奨学金の返還時期を迎える対象者数の増加とともに、滞納者数も増加しており、法人経営の安定と将来の奨学金事業の財源確保のため、返還金債権の確実な回収が課題となっている。</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H17</th> <th>H22</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>返還対象者数</td> <td>1,920</td> <td>4,447</td> <td>15,613</td> <td>15,160</td> </tr> <tr> <td>滞納者数</td> <td>188</td> <td>704</td> <td>2,751</td> <td>2,826</td> </tr> <tr> <td>返還率(%)</td> <td>83.5</td> <td>79.5</td> <td>75.1</td> <td>73.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※返還率＝返還額÷返還予定額</p>			年度	H17	H22	R03	R04	返還対象者数	1,920	4,447	15,613	15,160	滞納者数	188	704	2,751	2,826	返還率(%)	83.5	79.5	75.1	73.8																				
年度	H17	H22	R03	R04																																								
返還対象者数	1,920	4,447	15,613	15,160																																								
滞納者数	188	704	2,751	2,826																																								
返還率(%)	83.5	79.5	75.1	73.8																																								
6	対策及び処理状況	<p>1 平成21年度から債権管理事務委託の導入により、専らその回収に従事する職員を配置し、平成24年度からは2人に増員するとともに、債権管理に精通した人材を配置することで返還率の向上に努めている。</p> <p>2 文書催告・支払督促等の法的手段による債権回収に加え、令和5年度からは一部の未収金回収業務に外部委託を導入し、更なる返還率の向上を図ることとしている。</p>																																										



# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体26

(課・室名) 体育保健課

項	目	概	要	等																																						
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県スポーツ協会 会長 麻生 益直																																								
2	県出資金	2,000千円																																								
	出資比率	14.3%																																								
	資本金等の総額	13,958千円																																								
3	事業内容	1 国民体育大会・九州ブロック大会等の各種スポーツ大会及びスポーツに関する技能・体力・競技力の向上に対する助成並びに指導者の資質向上等を図る事業 2 スポーツを通じて児童・青少年の健全な育成を図るための各種大会の開催、助成並びにスポーツに関する講習会・研修会等の開催及び助成事業 3 スポーツに関する指導体制等の拡充及びスポーツ選手の育成・強化等に関する事業並びに地域のスポーツ振興及びスポーツに関する団体の組織拡充等に関する事業 4 スポーツの健全な普及・振興等に功績のあった個人・団体に対する表彰事業 5 スポーツ水準の向上を図るためのスポーツ医科学等の調査・研究等に関する事業 6 ホームページの運営、広報誌発行等によるスポーツの普及事業並びに関係機関への情報提供、連携等によるスポーツ振興に関する事業																																								
4	4年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円)																																								
		<table border="0"> <tr> <td>経常収益</td> <td>299,546</td> <td>資産</td> <td>52,642</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>299,913</td> <td>流動資産</td> <td>48,447</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲368</td> <td>固定資産</td> <td>4,195</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>9,300</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>9,300</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲368</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>43,342</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲978</td> <td>一般正味財産</td> <td>41,737</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>43,342</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,605</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲1,346</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			経常収益	299,546	資産	52,642	経常費用	299,913	流動資産	48,447	当期経常増減額	▲368	固定資産	4,195	経常外収益	0	負債	9,300	経常外費用	0	流動負債	9,300	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期一般正味財産増減額	▲368	正味財産(純資産)	43,342	当期指定正味財産増減額	▲978	一般正味財産	41,737	正味財産期末残高	43,342	指定正味財産	1,605	当期正味財産増減額	▲1,346
経常収益	299,546	資産	52,642																																							
経常費用	299,913	流動資産	48,447																																							
当期経常増減額	▲368	固定資産	4,195																																							
経常外収益	0	負債	9,300																																							
経常外費用	0	流動負債	9,300																																							
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																							
当期一般正味財産増減額	▲368	正味財産(純資産)	43,342																																							
当期指定正味財産増減額	▲978	一般正味財産	41,737																																							
正味財産期末残高	43,342	指定正味財産	1,605																																							
当期正味財産増減額	▲1,346																																									
5	問題点及び懸案事項	県からの負担金が経常収益の8割を超えていることを踏まえ、安定的な自主財源の確保による財政基盤の確立が必要となっている。																																								
6	対策及び処理状況	1 財政基盤の確立に向け、平成29年度から加盟団体分担金を改定し、自主財源の増額を図った。 2 ホームページによる広報等を通じて、企業・個人に対する賛助会員の拡大に努めている。 3 スポーツ振興と県民体力の向上を推進する役割が十分果たせるよう、組織的に取り組む体制の整備に向け、県として指導・協力を行っていく。																																								

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体27

(課・室名) 警察本部 組織犯罪対策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県暴力追放運動推進センター 代表者 後藤 富一郎																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	465,000千円 76.3% 609,500千円																																														
3	事業内容	1 暴力根絶のための広報・啓発活動 2 暴力追放運動組織に対する支援活動 3 暴力団員による不当な行為に関する相談活動 4 少年に対する暴力団の影響を排除するための活動 5 暴力団からの離脱支援活動 6 事業者に対する援助活動 等																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>24,211</td> <td>資産</td> <td>633,272</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>24,540</td> <td>流動資産</td> <td>11,229</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲328</td> <td>固定資産</td> <td>622,043</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>6,382</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>1,344</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>5,038</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲328</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>626,890</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>621,887</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>626,890</td> <td>指定正味財産</td> <td>5,003</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲328</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	24,211	資産	633,272	経常費用	24,540	流動資産	11,229	当期経常増減額	▲328	固定資産	622,043	経常外収益	0	負債	6,382	経常外費用	0	流動負債	1,344	当期経常外増減額	0	固定負債	5,038	当期一般正味財産増減額	▲328	正味財産(純資産)	626,890	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	621,887	正味財産期末残高	626,890	指定正味財産	5,003	当期正味財産増減額	▲328		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	24,211	資産	633,272																																													
経常費用	24,540	流動資産	11,229																																													
当期経常増減額	▲328	固定資産	622,043																																													
経常外収益	0	負債	6,382																																													
経常外費用	0	流動負債	1,344																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	5,038																																													
当期一般正味財産増減額	▲328	正味財産(純資産)	626,890																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	621,887																																													
正味財産期末残高	626,890	指定正味財産	5,003																																													
当期正味財産増減額	▲328																																															
5	問題点及び懸案事項	賛助会員の獲得が困難な傾向にあることから、企業訪問(令和4年度:973社実施)や不当要求防止責任者講習(令和4年度:計31回、973人受講)を通じて、県民の理解を得ながら賛助金の獲得に努める必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	賛助会員の新規開拓を推進し、資金基盤の整備及び安定運用を図る。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体28

(課・室名) 警察本部 交通企画課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県交通安全協会 会長 杉原 正晴		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0.0% 45,155千円(特に指導監督する必要がある団体)		
3	事業内容	1 適正な交通の方法、交通事故の防止及び交通安全思想の普及のための広報啓発、交通安全教育に関する事業 2 交通事故の防止及び交通秩序維持のための優良運転者の育成、運転者教育に関する事業 3 道路における交通の安全と円滑を推進するための企画、調査研究に関する事業 4 その他目的を達成するために必要な事業		
4	4年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円)      ○貸借対照表(千円) 経常収益                      777,969      資産                              1,571,768 経常費用                      796,177      流動資産                      692,316 当期経常増減額              ▲18,208      固定資産                      879,452 経常外収益                      0      負債                              184,590 経常外費用                      48      流動負債                      67,021 当期経常外増減額              ▲48      固定負債                      117,569 当期一般正味財産増減額      ▲18,256      正味財産(純資産)              1,387,178 当期指定正味財産増減額      0      指定正味財産                      0 正味財産期末残高              1,387,178      一般正味財産                      1,387,178 当期正味財産増減額              ▲18,256		
5	問題点及び懸案事項	事業面では、令和4年中の交通事故が前年比で件数、死者数、負傷者数ともに減少し、一定の効果を実現できている。 財政面では、平成26年度から実施した財政再建計画により、平成29、30年度を除き黒字基調で推移してきたものの、令和4年度は免許更新者の減少により講習収益及び会費収入が減収し、自動車学校事業収益も入校生の減少により減収となったことから、経常赤字となった。 今後も免許更新者及び入校生の減少が見込まれ、経常赤字となることが懸念される。		
6	対策及び処理状況	今後も免許更新者の減少が予想されることから、業務の効率化を図るとともに、会費収入の増加等に努める必要がある。		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他01

(課・室名) 芸術文化スポーツ振興課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	株式会社大分フットボールクラブ 代表取締役 小澤 正風			
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	10,000千円 3.7% 268,519千円			
3	事業内容	1 サッカーチーム（大分トリニータ）の経営 2 サッカー等のスポーツ選手の養成、指導並びに管理 3 スポーツ教室の開催、普及 4 スポーツ競技会及び各種イベントの企画運営等			
4	4年度決算状況	○損益計算書 (千円) 売上高 1,827,764 売上原価 1,745,902 売上総利益 81,862 販売費及び一般管理費 269,606 営業利益 ▲187,744 営業外収益 2,867 営業外費用 1,035 経常利益 ▲185,912 税引前当期純利益 ▲185,912 法人税、住民税及び事業税 297 当期純利益 ▲186,209	○貸借対照表 (千円) 資産 621,479 流動資産 516,922 固定資産 104,557 負債 532,749 流動負債 451,469 固定負債 81,280 純資産 88,730 資本金 134,267 資本剰余金 134,252 利益剰余金 ▲179,789		
5	問題点及び懸案事項	1 チケット収入やスポンサー収入等の収益の確保とあらゆる経費の削減に引き続き努めることにより、持続可能な経営体となるための経営体質の強化を図ることが求められている。 2 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の柱である試合運営によるチケット収入の確保に大きな影響が生じ、経営環境が非常に厳しくなっている。 また、ユニフォームスポンサーなど、スポンサー確保のための営業活動の強化が急務となっている。			
6	対策及び処理状況	1 平成21年度の経営危機以降、経営体制の刷新、新たなスポンサーの獲得などによる収入の確保、人件費をはじめとするあらゆる経費の削減など合理化に努めてきたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりチケット収入とスポンサー収入が減少し、3年連続で赤字を計上した。 2 非常に厳しい経営環境の中、経営基盤の強化策として、クラウドファンディングで1億円を目標に支援金を募っている。今後も様々な手段を活用して収入の確保を図り、目標であるJ1昇格に向け、補強などによるチームの強化や経営基盤の安定化に取り組むこととしている。			

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他02

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社別府交通センター 代表取締役社長 安部 喜代治																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	39,000千円 21.7% 180,000千円																																																						
3	事業内容	1 別府国際観光港前バスターミナルの運営、管理業務 2 土産品等の販売 3 食堂の経営及び飲食物類の販売																																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>316,728</td> <td>資産</td> <td>266,336</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>198,895</td> <td>流動資産</td> <td>206,087</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>117,833</td> <td>固定資産</td> <td>60,249</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>107,739</td> <td>負債</td> <td>125,796</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>10,095</td> <td>流動負債</td> <td>43,390</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>2,653</td> <td>固定負債</td> <td>82,406</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>10</td> <td>純資産</td> <td>140,540</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>12,738</td> <td>資本金</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>1,400</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>14,138</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲39,461</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>3,985</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>10,154</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	316,728	資産	266,336	売上原価	198,895	流動資産	206,087	売上総利益	117,833	固定資産	60,249	販売費及び一般管理費	107,739	負債	125,796	営業利益	10,095	流動負債	43,390	営業外収益	2,653	固定負債	82,406	営業外費用	10	純資産	140,540	経常利益	12,738	資本金	180,000	特別利益	1,400	資本剰余金	0	税引前当期純利益	14,138	利益剰余金	▲39,461	法人税、住民税及び事業税	3,985			当期純利益	10,154		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	316,728	資産	266,336																																																					
売上原価	198,895	流動資産	206,087																																																					
売上総利益	117,833	固定資産	60,249																																																					
販売費及び一般管理費	107,739	負債	125,796																																																					
営業利益	10,095	流動負債	43,390																																																					
営業外収益	2,653	固定負債	82,406																																																					
営業外費用	10	純資産	140,540																																																					
経常利益	12,738	資本金	180,000																																																					
特別利益	1,400	資本剰余金	0																																																					
税引前当期純利益	14,138	利益剰余金	▲39,461																																																					
法人税、住民税及び事業税	3,985																																																							
当期純利益	10,154																																																							
5	問題点及び懸案事項	1 ウィズコロナにおける来店客数の確保と累積赤字の解消 2 別府港再編計画を踏まえた今後の経営方針の策定																																																						
6	対策及び処理状況	1 令和5年度は本格的にポストコロナに移行し、人流の回復が予想されるため、これを着実に収入アップに繋げられるよう、誘客促進や販売商品の充実等の営業力の強化や仕入先の見直しなど経費抑制に取り組み、売上げ及び利益の確保に努める。 2 別府港の再編に合わせて、別府交通センターのあり方や今後の経営方針について協議していく。																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他03

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	一般財団法人大分県自動車会議所 理事長 渡邊 教和																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	500千円 20.4% 2,450千円																																																		
3	事業内容	1 自動車に関する調査研究及び普及宣伝 2 自動車に関する事業者間の連絡協調 3 自動車に関する意見の公表及び関係諸官庁への諸願建議 4 交通安全事業者の促進及び協力 5 交通会館の経営及び維持																																																		
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算表 (千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>27,168</td> <td>資産</td> <td>129,883</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>27,241</td> <td>流動資産</td> <td>9,649</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲72</td> <td>固定資産</td> <td>120,235</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>5,462</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>832</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>4,630</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲72</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>124,421</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>71,446</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>124,421</td> <td>指定正味財産</td> <td>52,975</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲72</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算表 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	27,168	資産	129,883	経常費用	27,241	流動資産	9,649	当期経常増減額	▲72	固定資産	120,235	経常外収益	0	負債	5,462	経常外費用	0	流動負債	832	当期経常外増減額	0	固定負債	4,630	当期一般正味財産増減額	▲72	正味財産(純資産)	124,421	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	71,446	正味財産期末残高	124,421	指定正味財産	52,975	当期正味財産増減額	▲72			長期借入金	0		
○正味財産増減計算表 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																		
経常収益	27,168	資産	129,883																																																	
経常費用	27,241	流動資産	9,649																																																	
当期経常増減額	▲72	固定資産	120,235																																																	
経常外収益	0	負債	5,462																																																	
経常外費用	0	流動負債	832																																																	
当期経常外増減額	0	固定負債	4,630																																																	
当期一般正味財産増減額	▲72	正味財産(純資産)	124,421																																																	
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	71,446																																																	
正味財産期末残高	124,421	指定正味財産	52,975																																																	
当期正味財産増減額	▲72																																																			
長期借入金	0																																																			
5	問題点及び懸案事項	1 会館建築から45年が経過したため、施設の老朽化に伴う各設備の修繕等が必要となる可能性がある。 2 令和3年度まで計上していなかった減価償却費を計上したこと(費用の増額)や令和3年度の長期借入金の完済に伴い、返済期間中上乘せしていた共益費を減額したこと(収入の減額)により、令和4年度は赤字となった。																																																		
6	対策及び処理状況	1 会館の適正な維持管理を継続する。 2 今後は、賛助会員の募集、会議室の利用促進を積極的に行い、増収を図る。																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他04

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等																																																		
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県アイバンク協会 理事長 久保田 敏昭																																																				
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	5,000千円 6.8% 73,000千円																																																				
3	事業内容	1 献眼する者の募集及び登録に関する事業を行うこと。 2 提供される眼球の摘出、輸送、検査、保存及びあっせんに関する事業を行うこと。 3 献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発に関する事業を行うこと。 4 その他当法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。																																																				
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>4,496</td> <td>資産</td> <td>76,076</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>3,595</td> <td>流動資産</td> <td>2,872</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>901</td> <td>固定資産</td> <td>73,205</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>71</td> <td>流動負債</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲71</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>830</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>76,071</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">主な収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寄附金</td> <td></td> <td>2,759千円</td> </tr> <tr> <td>受講料収入</td> <td></td> <td>105千円</td> </tr> <tr> <td>賛助会費</td> <td></td> <td>748千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主な支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td></td> <td>1,045千円</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	4,496	資産	76,076	経常費用	3,595	流動資産	2,872	当期経常増減額	901	固定資産	73,205	経常外収益	0	負債	5	経常外費用	71	流動負債	5	当期経常外増減額	▲71	固定負債	0	当期正味財産増減額	830	正味財産(純資産)	76,071	主な収入			寄附金		2,759千円	受講料収入		105千円	賛助会費		748千円	主な支出			職員人件費		1,045千円
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																				
経常収益	4,496	資産	76,076																																																			
経常費用	3,595	流動資産	2,872																																																			
当期経常増減額	901	固定資産	73,205																																																			
経常外収益	0	負債	5																																																			
経常外費用	71	流動負債	5																																																			
当期経常外増減額	▲71	固定負債	0																																																			
当期正味財産増減額	830	正味財産(純資産)	76,071																																																			
主な収入																																																						
寄附金		2,759千円																																																				
受講料収入		105千円																																																				
賛助会費		748千円																																																				
主な支出																																																						
職員人件費		1,045千円																																																				
5	問題点及び懸案事項	1 献眼者数を確保するため、制度の普及・啓発の強化が課題である。 2 寄附金の増収対策など経営体質の強化が課題である。																																																				
6	対策及び処理状況	1 SNS等、多様な広報媒体を活用し、献眼に関する県民の理解を深めていく。 2 寄附金収入の増加を図るため、平成25年度から支援型自動販売機や募金箱の設置を進め、自主財源の確保に努めている。 ※自動販売機は大分大学医学部附属病院等に計9台設置。 (R3:9台、342千円 → R4:9台、386千円) ※募金箱は57個設置。(R3:423千円 → R4:653千円)																																																				

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他05

(課・室名) 循環社会推進課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県環境管理協会 理事長 穴南 幸司																								
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,000千円 2.5% 40,000千円																								
3	事業内容	1 浄化槽法に基づく法定検査及び放流水の水質検査 2 環境衛生関係の各種講習会や調査研究																								
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 452,282</td> <td>資産 593,128</td> </tr> <tr> <td>経常費用 434,237</td> <td>流動資産 192,122</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 18,045</td> <td>固定資産 401,006</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 0</td> <td>負債 163,177</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 59,020</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>固定負債 104,158</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 18,045</td> <td>正味財産(純資産) 429,951</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>一般正味財産 409,951</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 429,951</td> <td>指定正味財産 20,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 18,045</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)	経常収益 452,282	資産 593,128	経常費用 434,237	流動資産 192,122	当期経常増減額 18,045	固定資産 401,006	経常外収益 0	負債 163,177	経常外費用 0	流動負債 59,020	当期経常外増減額 0	固定負債 104,158	当期一般正味財産増減額 18,045	正味財産(純資産) 429,951	当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 409,951	正味財産期末残高 429,951	指定正味財産 20,000	当期正味財産増減額 18,045	
○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)																									
経常収益 452,282	資産 593,128																									
経常費用 434,237	流動資産 192,122																									
当期経常増減額 18,045	固定資産 401,006																									
経常外収益 0	負債 163,177																									
経常外費用 0	流動負債 59,020																									
当期経常外増減額 0	固定負債 104,158																									
当期一般正味財産増減額 18,045	正味財産(純資産) 429,951																									
当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 409,951																									
正味財産期末残高 429,951	指定正味財産 20,000																									
当期正味財産増減額 18,045																										
5	問題点及び懸案事項	<p>浄化槽法に基づく法定検査(11条検査)受検率の向上</p> <p>※11条検査:年1回の定期検査</p>																								
6	対策及び処理状況	<p>今後は、浄化槽法の改正に伴い令和5年3月に新たに設置した法定協議会等を活用し、関係機関と連携して、効率的な法定検査の実施に不可欠な浄化槽台帳の整備や、未受検者への指導を推進する。</p> <p>併せて、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、関係機関と連携して各種啓発・普及活動等も実施していく。</p>																								



# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他06

(課・室名) 経営創造・金融課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	大分県信用保証協会 会長 稲垣 守			
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,367,217千円 20.2% 16,687,110千円			
3	事業内容	<p>中小企業者が金融機関から借入等する場合の借入金等に対してその債務保証をすること</p> <p>(令和4年度保証承諾実績) 4,916件、49,017百万円</p> <p>(令和4年度末保証債務残高) 27,986件、245,476百万円</p>			
4	4年度決算状況	<p>○正味財産増減計算書(千円)</p> <p>経常収益 2,597,161</p> <p>経常費用 1,740,769</p> <p>当期経常増減額 856,393</p> <p>経常外収益 2,915,061</p> <p>経常外費用 2,930,513</p> <p>当期経常外増減額 ▲15,452</p> <p>正味財産期首残額 22,217,166</p> <p>正味財産期末残額 23,058,106</p> <p>当期正味財産増減額 840,940</p>	<p>○貸借対照表(千円)</p> <p>資産 276,382,103</p> <p>流動資産 28,989,122</p> <p>固定資産 1,916,836</p> <p>保証債務見返 245,476,145</p> <p>負債 253,323,996</p> <p>流動負債 5,565,856</p> <p>固定負債 2,281,995</p> <p>保証債務 245,476,145</p> <p>正味財産 23,058,106</p>		
5	問題点及び懸案事項	<p>引き続き健全な経営の継続と安定した経営基盤の確立を目指すとともに、中小企業者が必要とする資金の信用保証業務を適切に行い、中小企業金融の円滑化と中小企業の経営改善に寄与する必要がある。</p>			
6	対策及び処理状況	<p>令和3年3月に策定した第6次中期事業計画並びに各年次経営計画に掲げる業務運営方針及び基本目標を着実に実行することにより、健全経営の継続と中小企業金融の円滑化等への寄与に努めていく。</p>			

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他07

(課・室名) D X 推進 課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社大分放送 代表取締役社長 猪俣 知三																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	32,000千円 12.3% 260,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づくラジオ放送 2 放送法に基づくテレビ放送 3 その他放送に関連する事業																																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>4,592,252</td> <td>資産</td> <td>7,484,289</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,946,216</td> <td>流動資産</td> <td>2,837,169</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>2,646,036</td> <td>固定資産</td> <td>4,647,120</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>2,237,077</td> <td>負債</td> <td>3,741,341</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>13,701</td> <td>流動負債</td> <td>1,844,487</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>125,489</td> <td>固定負債</td> <td>1,896,854</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>15,907</td> <td>純資産</td> <td>3,742,948</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>123,283</td> <td>資本金</td> <td>260,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>123,999</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>32,432</td> <td>利益剰余金</td> <td>3,428,676</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>26,145</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>54,272</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>65,423</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	4,592,252	資産	7,484,289	売上原価	1,946,216	流動資産	2,837,169	売上総利益	2,646,036	固定資産	4,647,120	販売費及び一般管理費	2,237,077	負債	3,741,341	営業利益	13,701	流動負債	1,844,487	営業外収益	125,489	固定負債	1,896,854	営業外費用	15,907	純資産	3,742,948	経常利益	123,283	資本金	260,000	税引前当期純利益	123,999	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	32,432	利益剰余金	3,428,676	法人税等調整額	26,145	評価・換算差額等	54,272	当期純利益	65,423		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	4,592,252	資産	7,484,289																																																					
売上原価	1,946,216	流動資産	2,837,169																																																					
売上総利益	2,646,036	固定資産	4,647,120																																																					
販売費及び一般管理費	2,237,077	負債	3,741,341																																																					
営業利益	13,701	流動負債	1,844,487																																																					
営業外収益	125,489	固定負債	1,896,854																																																					
営業外費用	15,907	純資産	3,742,948																																																					
経常利益	123,283	資本金	260,000																																																					
税引前当期純利益	123,999	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	32,432	利益剰余金	3,428,676																																																					
法人税等調整額	26,145	評価・換算差額等	54,272																																																					
当期純利益	65,423																																																							
5	問題点及び懸案事項	黒字決算を継続しており、今後も安定した経営が見込まれる。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も、地域に密着した番組制作の充実強化に取り組むとともに、積極的な営業活動に努める。																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他08

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分朝日放送株式会社 代表取締役社長 橋本 仁																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	150,000千円 5.0% 3,000,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づくテレビ放送事業 2 催し物・イベント等の事業																																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>3,674,858</td> <td>資産</td> <td>8,390,896</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,662,364</td> <td>流動資産</td> <td>5,207,511</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>2,012,494</td> <td>固定資産</td> <td>3,183,384</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>1,765,245</td> <td>負債</td> <td>1,055,521</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>247,249</td> <td>流動負債</td> <td>578,890</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>17,370</td> <td>固定負債</td> <td>476,631</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>1,571</td> <td>純資産</td> <td>7,335,374</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>263,048</td> <td>資本金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>263,048</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>85,627</td> <td>利益剰余金</td> <td>4,323,420</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>5,622</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>11,953</td> </tr> <tr> <td><u>当期純利益</u></td> <td><u>171,797</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	3,674,858	資産	8,390,896	売上原価	1,662,364	流動資産	5,207,511	売上総利益	2,012,494	固定資産	3,183,384	販売費及び一般管理費	1,765,245	負債	1,055,521	営業利益	247,249	流動負債	578,890	営業外収益	17,370	固定負債	476,631	営業外費用	1,571	純資産	7,335,374	経常利益	263,048	資本金	3,000,000	税引前当期純利益	263,048	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	85,627	利益剰余金	4,323,420	法人税等調整額	5,622	評価・換算差額等	11,953	<u>当期純利益</u>	<u>171,797</u>		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	3,674,858	資産	8,390,896																																																					
売上原価	1,662,364	流動資産	5,207,511																																																					
売上総利益	2,012,494	固定資産	3,183,384																																																					
販売費及び一般管理費	1,765,245	負債	1,055,521																																																					
営業利益	247,249	流動負債	578,890																																																					
営業外収益	17,370	固定負債	476,631																																																					
営業外費用	1,571	純資産	7,335,374																																																					
経常利益	263,048	資本金	3,000,000																																																					
税引前当期純利益	263,048	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	85,627	利益剰余金	4,323,420																																																					
法人税等調整額	5,622	評価・換算差額等	11,953																																																					
<u>当期純利益</u>	<u>171,797</u>																																																							
5	問題点及び懸案事項	黒字決算を継続しており、今後も安定した経営が見込まれる。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も積極的な営業活動と業務の効率化に努めるとともに、地域への情報発信に取り組む。																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他09

(課・室名) D X 推進 課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社エフエム大分 代表取締役社長 田中 竜																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	4,000千円 5.0% 80,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づく超短波放送事業及びその他放送関連事業 2 音楽会、演奏会等各種行事の企画及び開催に関する文化事業																																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>320,425</td> <td>資産</td> <td>217,036</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>135,901</td> <td>流動資産</td> <td>122,864</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>184,524</td> <td>固定資産</td> <td>94,172</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>184,482</td> <td>負債</td> <td>116,550</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>42</td> <td>流動負債</td> <td>22,066</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,017</td> <td>固定負債</td> <td>94,484</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>283</td> <td>純資産</td> <td>100,486</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>776</td> <td>資本金</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>776</td> <td>資本剰余金</td> <td>13,070</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>587</td> <td>利益剰余金</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>0</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>7,227</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>189</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	320,425	資産	217,036	売上原価	135,901	流動資産	122,864	売上総利益	184,524	固定資産	94,172	販売費及び一般管理費	184,482	負債	116,550	営業利益	42	流動負債	22,066	営業外収益	1,017	固定負債	94,484	営業外費用	283	純資産	100,486	経常利益	776	資本金	80,000	税引前当期純利益	776	資本剰余金	13,070	法人税、住民税及び事業税	587	利益剰余金	189	法人税等調整額	0	評価・換算差額等	7,227	当期純利益	189		
損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																						
売上高	320,425	資産	217,036																																																					
売上原価	135,901	流動資産	122,864																																																					
売上総利益	184,524	固定資産	94,172																																																					
販売費及び一般管理費	184,482	負債	116,550																																																					
営業利益	42	流動負債	22,066																																																					
営業外収益	1,017	固定負債	94,484																																																					
営業外費用	283	純資産	100,486																																																					
経常利益	776	資本金	80,000																																																					
税引前当期純利益	776	資本剰余金	13,070																																																					
法人税、住民税及び事業税	587	利益剰余金	189																																																					
法人税等調整額	0	評価・換算差額等	7,227																																																					
当期純利益	189																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>コロナ禍を経て経済活動が活性化する中、新規スポンサーの開拓に取り組んだこと等により、黒字決算へ転換した。今後も経営の安定化に向けた取組が必要である。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>営業面では、新規スポンサーの開拓に取り組んだことにより、売上高が前年より増加した。</p> <p>また、コロナ禍を経て、公開生放送やイベントの再開など新しい企画に取り組み始めたところ。</p> <p>引き続き、新規スポンサーの開拓などによる売上げの増加と経費の抑制に努めていく。</p>																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他10

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分県デジタルネットワークセンター株式会社 代表取締役社長 荒木 節夫																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 3.6% 56,000千円																																																						
3	事業内容	1 デジタル放送設備の共同利用 2 地上波放送の受信点の共同利用 3 自主制作番組の相互利用																																																						
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>39,813</td> <td>資産</td> <td>79,321</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>31,387</td> <td>流動資産</td> <td>79,321</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>8,426</td> <td>固定資産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>7,748</td> <td>負債</td> <td>5,736</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>677</td> <td>流動負債</td> <td>5,736</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>5,867</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>5,900</td> <td>純資産</td> <td>73,585</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>645</td> <td>資本金</td> <td>56,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>645</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>322</td> <td>利益剰余金</td> <td>17,585</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>0</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>322</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	39,813	資産	79,321	売上原価	31,387	流動資産	79,321	売上総利益	8,426	固定資産	0	販売費及び一般管理費	7,748	負債	5,736	営業利益	677	流動負債	5,736	営業外収益	5,867	固定負債	0	営業外費用	5,900	純資産	73,585	経常利益	645	資本金	56,000	税引前当期純利益	645	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	322	利益剰余金	17,585	法人税等調整額	0	評価・換算差額等	0	当期純利益	322		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	39,813	資産	79,321																																																					
売上原価	31,387	流動資産	79,321																																																					
売上総利益	8,426	固定資産	0																																																					
販売費及び一般管理費	7,748	負債	5,736																																																					
営業利益	677	流動負債	5,736																																																					
営業外収益	5,867	固定負債	0																																																					
営業外費用	5,900	純資産	73,585																																																					
経常利益	645	資本金	56,000																																																					
税引前当期純利益	645	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	322	利益剰余金	17,585																																																					
法人税等調整額	0	評価・換算差額等	0																																																					
当期純利益	322																																																							
5	問題点及び懸案事項	条件不利地域における情報格差の是正、及び地域情報化の推進に資するため、今後も安定した経営が必要である。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も安定した事業運営に努める。																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他11

(課・室名) 団体指導・金融課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県農業信用基金協会 会長理事 壁村 雄吉																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,030,430千円 24.0% 4,290,830千円																																																		
3	事業内容	1 農業者等に対する債務保証業務 2 求償権回収業務																																																		
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○収支計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>323,016</td> <td>資産</td> <td>95,127,007</td> </tr> <tr> <td>  事業収入</td> <td>223,872</td> <td>  流動資産</td> <td>2,946,866</td> </tr> <tr> <td>  補助金等収入</td> <td>50,019</td> <td>  固定資産</td> <td>5,760,184</td> </tr> <tr> <td>  その他の収入</td> <td>49,126</td> <td>  保証債務見返</td> <td>86,419,957</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>291,313</td> <td>負債</td> <td>89,147,739</td> </tr> <tr> <td>  事業費</td> <td>9,069</td> <td>  流動負債</td> <td>469,055</td> </tr> <tr> <td>  管理費</td> <td>167,048</td> <td>  固定負債</td> <td>2,258,727</td> </tr> <tr> <td>  その他の支出</td> <td>115,197</td> <td>  保証債務</td> <td>86,419,957</td> </tr> <tr> <td>当期収支差額</td> <td>31,703</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>5,979,268</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>  うち基本(資本)金</td> <td>5,947,565</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>  うち当期正味財産増減額</td> <td>31,703</td> </tr> </table>			○収支計算書(千円)	○貸借対照表(千円)			収入	323,016	資産	95,127,007	事業収入	223,872	流動資産	2,946,866	補助金等収入	50,019	固定資産	5,760,184	その他の収入	49,126	保証債務見返	86,419,957	支出	291,313	負債	89,147,739	事業費	9,069	流動負債	469,055	管理費	167,048	固定負債	2,258,727	その他の支出	115,197	保証債務	86,419,957	当期収支差額	31,703	正味財産(純資産)	5,979,268			うち基本(資本)金	5,947,565			うち当期正味財産増減額	31,703
○収支計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																																																			
収入	323,016	資産	95,127,007																																																	
事業収入	223,872	流動資産	2,946,866																																																	
補助金等収入	50,019	固定資産	5,760,184																																																	
その他の収入	49,126	保証債務見返	86,419,957																																																	
支出	291,313	負債	89,147,739																																																	
事業費	9,069	流動負債	469,055																																																	
管理費	167,048	固定負債	2,258,727																																																	
その他の支出	115,197	保証債務	86,419,957																																																	
当期収支差額	31,703	正味財産(純資産)	5,979,268																																																	
		うち基本(資本)金	5,947,565																																																	
		うち当期正味財産増減額	31,703																																																	
5	問題点及び懸案事項	<p>期中管理の徹底を図り、代位弁済の減少に努めることにより安定した経営が見込まれる。</p> <p style="text-align: right;">(金額単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代弁件数</td> <td>8</td> <td>18</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>代弁金額</td> <td>15,367</td> <td>54,913</td> <td>11,135</td> <td>6,949</td> <td>58,121</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H30	R1	R2	R3	R4	代弁件数	8	18	9	5	16	代弁金額	15,367	54,913	11,135	6,949	58,121																														
年度	H30	R1	R2	R3	R4																																															
代弁件数	8	18	9	5	16																																															
代弁金額	15,367	54,913	11,135	6,949	58,121																																															
6	対策及び処理状況	<p>融資機関等に対する研修会を通じて、債務保証制度の周知を図るとともに、保証案件の事故を未然に防ぐため、融資機関や行政等と連携し、期中管理の強化を図っている。</p>																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他12

(課・室名) 園芸振興課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県園芸振興基金協会 会長理事 佐土原 斉																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	25,000千円 24.9% 100,170千円																																														
3	事業内容	<p>野菜及び果実の安定的な生産出荷の推進、生産農家の経営安定の支援、青果物の需給拡大を図るため、以下の事業を行っている。</p> <p>1 野菜価格安定事業 価格が下落した場合の価格差補給交付金の交付を通じて農家の経営安定と再生産並びに青果物の安定供給を図る。</p> <p>2 果樹経営支援対策事業 優良品目・品種への転換、未収益期間に加え、園地整備等、労働生産性の向上を図り、果樹産地の生産体制強化を図る。</p> <p>3 消費拡大対策事業 県農業祭等で野菜・果実の消費拡大PR活動を実施。</p>																																														
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>356,302</td> <td>資産</td> <td>884,352</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>352,675</td> <td>流動資産</td> <td>98,409</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>3,627</td> <td>固定資産</td> <td>785,943</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>139,039</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>38,470</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>100,569</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>3,627</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>745,314</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>72,782</td> <td>一般正味財産</td> <td>256,684</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>745,314</td> <td>指定正味財産</td> <td>488,630</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>76,409</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	356,302	資産	884,352	経常費用	352,675	流動資産	98,409	当期経常増減額	3,627	固定資産	785,943	経常外収益	0	負債	139,039	経常外費用	0	流動負債	38,470	当期経常外増減額	0	固定負債	100,569	当期一般正味財産増減額	3,627	正味財産(純資産)	745,314	当期指定正味財産増減額	72,782	一般正味財産	256,684	正味財産期末残高	745,314	指定正味財産	488,630	当期正味財産増減額	76,409		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	356,302	資産	884,352																																													
経常費用	352,675	流動資産	98,409																																													
当期経常増減額	3,627	固定資産	785,943																																													
経常外収益	0	負債	139,039																																													
経常外費用	0	流動負債	38,470																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	100,569																																													
当期一般正味財産増減額	3,627	正味財産(純資産)	745,314																																													
当期指定正味財産増減額	72,782	一般正味財産	256,684																																													
正味財産期末残高	745,314	指定正味財産	488,630																																													
当期正味財産増減額	76,409																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>経常収支で黒字を維持しているものの、外国債の運用益により管理費を賄っているため、資産の安全かつ効率的な運用により経営の安定化を図っていく必要がある。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>引き続き効率的な事務事業を行うとともに、資産の運用についても適切に実施していく。</p>																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他13

(課・室名) 畜産振興課

項	目	概	要	等																																																								
1	法人名及び代表者名	株式会社大分県畜産公社 代表取締役社長 壁村 雄吉																																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	500,150千円 19.4% 2,574,540千円																																																										
3	事業内容	<p>食肉流通の近代化、合理化を図ることで、畜産農家の所得向上と消費者への食肉の安定供給に寄与することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 家畜のと畜解体処理</li> <li>2 食肉の製造及び販売</li> <li>3 県産畜産物アンテナショップの運営</li> <li>4 肥育牛の預託事業</li> <li>5 その他附帯する事業</li> </ol>																																																										
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>10,647,103</td> <td>資産</td> <td>5,172,340</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>10,046,944</td> <td>流動資産</td> <td>2,883,508</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>600,159</td> <td>固定資産</td> <td>2,288,831</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>594,019</td> <td>負債</td> <td>2,913,318</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>6,140</td> <td>流動負債</td> <td>2,199,325</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>21,097</td> <td>固定負債</td> <td>713,993</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>1,950</td> <td>純資産</td> <td>2,259,022</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>25,287</td> <td>資本金</td> <td>2,574,540</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>6,623</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>1,083</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲315,518</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>30,827</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>法人税・住民税及び事業税</td> <td>9,143</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>21,684</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	10,647,103	資産	5,172,340	売上原価	10,046,944	流動資産	2,883,508	売上総利益	600,159	固定資産	2,288,831	販売費及び一般管理費	594,019	負債	2,913,318	営業利益	6,140	流動負債	2,199,325	営業外収益	21,097	固定負債	713,993	営業外費用	1,950	純資産	2,259,022	経常利益	25,287	資本金	2,574,540	特別利益	6,623	資本剰余金	0	特別損失	1,083	利益剰余金	▲315,518	税引前当期純利益	30,827			法人税・住民税及び事業税	9,143			当期純利益	21,684		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																										
売上高	10,647,103	資産	5,172,340																																																									
売上原価	10,046,944	流動資産	2,883,508																																																									
売上総利益	600,159	固定資産	2,288,831																																																									
販売費及び一般管理費	594,019	負債	2,913,318																																																									
営業利益	6,140	流動負債	2,199,325																																																									
営業外収益	21,097	固定負債	713,993																																																									
営業外費用	1,950	純資産	2,259,022																																																									
経常利益	25,287	資本金	2,574,540																																																									
特別利益	6,623	資本剰余金	0																																																									
特別損失	1,083	利益剰余金	▲315,518																																																									
税引前当期純利益	30,827																																																											
法人税・住民税及び事業税	9,143																																																											
当期純利益	21,684																																																											
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県内唯一の食肉処理施設としての処理機能に加え、県産食肉の国内外における販路拡大に向けた「ブランド力を高める機能」と「流通拠点としての機能」が求められている。</li> <li>2 令和4年度については、畜産クラスター事業を通じて規模拡大を支援した農場からの肉畜の集荷量増加、輸出向け牛肉の取扱量増加により、当期純利益は3年連続で黒字となった。経営体質は健全化してきているが、利益剰余金は▲315,518千円となっており、繰越欠損金の早期解消に向け、継続した取組が必要である。</li> </ol>																																																										
6	対策及び処理状況	<p>繰越欠損金の早期解消に向け、以下に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 と畜・加工部門の効率化により、時間あたり処理頭数の向上や超過勤務の削減を図り、経費削減を進める。</li> <li>2 人材の確保と育成を積極的に行うとともに、畜産クラスター事業を活用した意欲ある生産者の事業規模拡大を支援し、集荷拡大を図る。</li> <li>3 対象国・地域の実情に応じたスペックカット対応により対米を中心とした海外輸出を強化するとともに、インターネット販売など多様化する需要に対応した販売を強化し、販売拡大を促進する。</li> </ol>																																																										



# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他14

(課・室名) 漁港漁村整備課

項	目	概	要	等																																																								
1	法人名及び代表者名	周防灘フェリー株式会社 代表取締役社長 齋藤 良二																																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	501千円 1.0% 48,000千円																																																										
3	事業内容	竹田津・徳山航路のフェリーボートの運航																																																										
4	4年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○損益計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>327,357</td> <td>資産</td> <td>409,318</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>327,988</td> <td>流動資産</td> <td>294,865</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>▲630</td> <td>固定資産</td> <td>114,452</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>97,164</td> <td>負債</td> <td>445,254</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲97,795</td> <td>流動負債</td> <td>79,566</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>9,841</td> <td>固定負債</td> <td>365,688</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>1,667</td> <td>純資産</td> <td>▲35,936</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲89,620</td> <td>資本金</td> <td>48,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>62,210</td> <td>資本剰余金</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>0</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲83,463</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純損失</td> <td>▲27,410</td> <td>自己株式</td> <td>▲721</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>365</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲27,775</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	327,357	資産	409,318	売上原価	327,988	流動資産	294,865	売上総利益	▲630	固定資産	114,452	販売費及び一般管理費	97,164	負債	445,254	営業利益	▲97,795	流動負債	79,566	営業外収益	9,841	固定負債	365,688	営業外費用	1,667	純資産	▲35,936	経常利益	▲89,620	資本金	48,000	特別利益	62,210	資本剰余金	200	特別損失	0	利益剰余金	▲83,463	税引前当期純損失	▲27,410	自己株式	▲721	法人税、住民税及び事業税	365	評価・換算差額等	48	当期純利益	▲27,775		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																										
売上高	327,357	資産	409,318																																																									
売上原価	327,988	流動資産	294,865																																																									
売上総利益	▲630	固定資産	114,452																																																									
販売費及び一般管理費	97,164	負債	445,254																																																									
営業利益	▲97,795	流動負債	79,566																																																									
営業外収益	9,841	固定負債	365,688																																																									
営業外費用	1,667	純資産	▲35,936																																																									
経常利益	▲89,620	資本金	48,000																																																									
特別利益	62,210	資本剰余金	200																																																									
特別損失	0	利益剰余金	▲83,463																																																									
税引前当期純損失	▲27,410	自己株式	▲721																																																									
法人税、住民税及び事業税	365	評価・換算差額等	48																																																									
当期純利益	▲27,775																																																											
5	問題点及び懸案事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響により航送収入の減少が続いていることに加え、燃料油価格の高騰による運航経費の増加が経営を圧迫している。</p> <p>2 高速道路との競合により燃料油価格の上昇分を運賃に転嫁することが難しく、収益改善のためにはさらなる利用客の増加が必要となる。</p>																																																										
6	対策及び処理状況	<p>収益改善にあたり、重量物や危険物の一括大量輸送やトラックドライバーの負担軽減などの優位性を生かした営業活動、ポストコロナにおける旅行客への誘客促進などに取り組むことにより利用客の増加を図り、大分県と中国地方を結ぶ唯一の航路を維持する。</p>																																																										

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他15

(課・室名) 警察本部 生活安全企画課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益財団法人 大分県防犯協会 理事長 荒金 一義																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 7.0% 28,418千円																																										
3	事業内容	1 防犯思想の普及及び高揚並びに犯罪の防止 2 少年非行の防止及び青少年の健全育成 3 防犯団体が行う防犯活動に対する協力援助 4 防犯活動の功労者及び団体に対する表彰 5 風俗環境の浄化活動 6 自転車等の防犯対策等																																										
4	4年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円)  <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:30%;">経常収益</td> <td style="width:10%;">35,376</td> <td style="width:30%;">資産</td> <td style="width:10%;">37,471</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>35,774</td> <td>流動資産</td> <td>7,842</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲398</td> <td>固定資産</td> <td>29,630</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>3,805</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>2</td> <td>流動負債</td> <td>2,743</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲2</td> <td>固定負債</td> <td>1,062</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲508</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>33,666</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲402</td> <td>一般正味財産</td> <td>33,516</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>33,666</td> <td>指定正味財産</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲909</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			経常収益	35,376	資産	37,471	経常費用	35,774	流動資産	7,842	当期経常増減額	▲398	固定資産	29,630	経常外収益	0	負債	3,805	経常外費用	2	流動負債	2,743	当期経常外増減額	▲2	固定負債	1,062	当期一般正味財産増減額	▲508	正味財産(純資産)	33,666	当期指定正味財産増減額	▲402	一般正味財産	33,516	正味財産期末残高	33,666	指定正味財産	150	当期正味財産増減額	▲909		
経常収益	35,376	資産	37,471																																									
経常費用	35,774	流動資産	7,842																																									
当期経常増減額	▲398	固定資産	29,630																																									
経常外収益	0	負債	3,805																																									
経常外費用	2	流動負債	2,743																																									
当期経常外増減額	▲2	固定負債	1,062																																									
当期一般正味財産増減額	▲508	正味財産(純資産)	33,666																																									
当期指定正味財産増減額	▲402	一般正味財産	33,516																																									
正味財産期末残高	33,666	指定正味財産	150																																									
当期正味財産増減額	▲909																																											
5	問題点及び懸案事項	<p>自転車防犯登録手数料による収入が減少したことを主たる要因として、正味財産期末残高が昨年度より約90万円減少した。</p> <p>一方で、賛助会員数及び賛助会費収入は、昨年と同水準を維持している。</p> <p>今後、公益事業を効果的かつ長期的に推進するためには、引き続き、団体の活動を広く県民に理解してもらうことにより、賛助会員の拡大等を図る必要がある。</p>																																										
6	対策及び処理状況	<p>近年、自転車販売台数が減少傾向にあることや登録証の原材料費高騰等を踏まえ、自転車防犯登録手数料の値上げについて検討する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことから、企業訪問や各種防犯活動を積極的に推進するとともに、ホームページや広報誌の活用等により、あらゆる機会を通じて県民及び各種団体に対し、賛助会員の拡大等に向けた協力依頼を行う。</p>																																										

## Ⅱ 地方独立行政法人（公立大学法人）の 経営状況報告概要書

# 地方独立行政法人の経営状況報告概要書

公立大学法人1

(課・室名) 政策企画課

項	目	概	要	等												
1	法人名及び代表者名	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学 理事長 小手川 大助														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,823,539千円(土地・建物) 100%														
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学を設置し、これを運営すること。</li> <li>2 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。</li> <li>3 芸術・文化の教育研究の成果を広く普及し、及びその活用を促進すること。</li> <li>4 学生以外の者に対し、芸術・文化に関する学習の機会を提供すること。</li> <li>5 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。</li> <li>6 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。</li> </ol> 就職率 R2:98.3% → R3:99.2% → R4:98.7% (県内就職率 R2:64.2% → R3:65.4% → R4:68.1%) 進学率 R2:100% → R3:100% → R4:100% 志願者数(学科) R3:801人 → R4:714人 → R5:731人 志願倍率(学科) R3:2.4倍 → R4:2.1倍 → R5:2.2倍														
4	4年度決算状況	経常収益 984,773千円 → 参考：内訳 経常費用 991,498千円 経常損失 6,725千円 臨時損益 0千円 前中期目標期間 繰越積立金取崩額 7,887千円 当期総利益 1,162千円	<table border="1"> <tr> <td>運営費交付金</td> <td>526,461千円</td> </tr> <tr> <td>授業料</td> <td>311,049千円</td> </tr> <tr> <td>入学金</td> <td>105,186千円</td> </tr> <tr> <td>検定料</td> <td>14,317千円</td> </tr> <tr> <td>受託事業等</td> <td>277千円</td> </tr> <tr> <td>その他(寄附金等)</td> <td>27,483千円</td> </tr> </table>		運営費交付金	526,461千円	授業料	311,049千円	入学金	105,186千円	検定料	14,317千円	受託事業等	277千円	その他(寄附金等)	27,483千円
運営費交付金	526,461千円															
授業料	311,049千円															
入学金	105,186千円															
検定料	14,317千円															
受託事業等	277千円															
その他(寄附金等)	27,483千円															
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 志願倍率は公立短期大学の全国平均を上回っているが、令和3年度入試から志願者数は減少傾向となっている。令和4年度は県外高校訪問を重点的に実施したことで、令和5年度の志願者数は若干の増加に転じた。</li> <li>2 学生に対するハラスメント行為を行った教員を令和5年3月に懲戒処分しており、コンプライアンスの遵守、ハラスメント対策の周知・徹底を図る必要がある。</li> </ol>														
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県外高校への訪問を昨年度よりも1ヶ月早く実施するとともに、オープンキャンパスの実施回数も増やすことにより、県内外へ積極的に情報発信し、志願者を確保する。</li> <li>2 ハラスメントの再発防止として、令和5年3月に学生への個別指導に関するガイドラインを作成し、教員へ周知した。令和5年度は全教職員を対象とした人権研修会を開催するほか、学生を対象としたハラスメント実態調査を実施する。</li> </ol>														

# 公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学の 令和4事業年度の業務実績に関する評価結果

## 1 根拠法令

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律附則第3条第3項の規定によりなお従前の例によることとされる同法第5条の規定による改正前の地方独立行政法人法第78条の2第6項

設立団体の長は、地方独立行政法人評価委員会の評価結果を議会に報告  
(令和5年7月14日 大分県地方独立行政法人評価委員会 開催)

## 2 令和4事業年度の業務実績評価結果

(1) 「年度計画を概ね順調に実施している。」

(2) 大項目評価

大項目	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
I 教育研究等の質の向上	S	A	B	C	D
II 業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D
III 財務内容の改善	S	A	B	C	D
IV 自己点検・評価及び情報提供	S	A	B	C	D
V その他業務運営	S	A	B	C	D

(3) 評価理由

5つの大項目評価のうち「Vその他業務運営」がC評価であったものの、「I教育研究等の質の向上」がS評価、その他の3項目もA評価であったため。

ア 「I教育研究等の質の向上」がS評価の理由

- ①全学科横断型の「アートマネジメントプログラム」など、新たな学修の展開を引き続き推進（開講5年目、全学科からの受講者141名、令和4年度31名修了）
- ②きめ細かな面接・相談等を行った結果、就職率（98.7%）進学率（100%）ともに高い水準を維持
- ③県内各地域、企業等との協働による制作・発表活動、地域支援活動の推進

イ 「Vその他業務運営」がC評価の理由

- ①人権侵害や各種ハラスメントの防止に取り組んでいたものの、教員から学生に対するハラスメント事案が確認されたことによる。

# 地方独立行政法人の経営状況報告概要書

公立大学法人2

(課・室名) 医療政策課

項	目	概	要	等												
1	法人名及び代表者名	公立大学法人大分県立看護科学大学 理事長 村 嶋 幸 代														
2	県 出 資 金 出 資 比 率 資 本 金 等 の 総 額	3, 2 6 4, 3 6 3 千円 (土地・建物) 1 0 0 %														
3	事 業 内 容	<p>1 大学を設置し、これを運営すること。</p> <p>2 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。</p> <p>3 地域社会及び国際社会において、大学における教育研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。</p> <p>4 学生以外の者に対し、看護に関する学習の機会を提供すること。</p> <p>5 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。</p> <p>6 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率 (学 部) R2 :95.8%→ R3 :97.1%→ R4 :98.4%</li> <li>・進学率 (学 部) R2 : 100%→ R3 : 100%→ R4 : 100%</li> <li>・志願者数 (学 部) R3 : 405人→ R4 : 451人→ R5 : 313人</li> <li>・国試合格率(看護師) R2 : 100%→ R3 : 100%→ R4 :97.3%</li> </ul>														
4	4 年 度 決 算 状 況	<p>経常収益 937,325千円 → 参考；内訳</p> <p>経常費用 929,381千円</p> <p>経常利益 7,944千円</p> <p>前中期目標期間</p> <p>繰越積立金取崩額 23,663千円</p> <p>当期総利益 31,607千円</p>	<table border="1"> <tr> <td>運営費交付金</td> <td>644,414千円</td> </tr> <tr> <td>授業料</td> <td>205,582千円</td> </tr> <tr> <td>入学金</td> <td>28,492千円</td> </tr> <tr> <td>検定料</td> <td>7,587千円</td> </tr> <tr> <td>受託研究等</td> <td>1,264千円</td> </tr> <tr> <td>その他(補助金等)</td> <td>49,986千円</td> </tr> </table>	運営費交付金	644,414千円	授業料	205,582千円	入学金	28,492千円	検定料	7,587千円	受託研究等	1,264千円	その他(補助金等)	49,986千円	
運営費交付金	644,414千円															
授業料	205,582千円															
入学金	28,492千円															
検定料	7,587千円															
受託研究等	1,264千円															
その他(補助金等)	49,986千円															
5	問題点及び懸案事項	<p>1 開学後25年が経過し、これまでほとんどいなかった定年退職者が今後5年間で12人見込まれる中において、教育・研究体制を維持・充実させる必要がある。</p> <p>2 また、教育・研究用の機器類や施設が老朽化しており、それらの修理更新及び施設保全の経費の増加が見込まれる。</p>														
6	対策及び処理状況	<p>1 円滑な新陳代謝を進めるために学内からの若手登用と経験豊富な外部人材の確保を計画的に行うとともに、全ての教職員に意見募集を行い人員配置や人材育成方法などの検討を進めることとしている。</p> <p>2 機器類は、積立金(令和4年度末残高220,724千円)を活用して、優先順位を定め効率的に修理、更新を進めている。</p> <p>施設保全については、劣化等による機能低下等を生じさせないよう、耐用年数等を考慮し計画的に改修を行う予防保全型維持管理を取り入れた大分県公共施設等総合管理指針に基づき対応している。</p>														

# 公立大学法人 大分県立看護科学大学の 令和4事業年度の業務実績に関する評価結果

## 1 根拠法令

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律附則第3条第3項の規定によりなお従前の例によることとされる同法第5条の規定による改正前の地方独立行政法人法第78条の2第6項

設立団体の長は、地方独立行政法人評価委員会の評価結果を議会に報告

(令和5年7月14日 大分県地方独立行政法人評価委員会 開催)

## 2 令和4事業年度の業務実績に関する評価結果

(1) 「全体として年度計画を順調に実施している。」

(2) 大項目評価

大項目	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
I 大学の教育研究 等の質の向上	S	A	B	C	D
II 業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D
III 財務内容の改善	S	A	B	C	D
IV 自己点検・評価 及び情報の提供	S	A	B	C	D
V その他業務運営	S	A	B	C	D

(3) 評価理由

- ①教育内容の改革として、令和4年度から新カリキュラムを着実に開始するとともに、地域医療介護総合確保基金、文部科学省補正予算ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業費を活用し、実習室の改修及びDX/ICT教材等の充実を図ることで、教育面において著しく効果を得ていること。
- ②学部卒業生の県内就職率で過去最高となる60%を達成したことに加え、「おおいた地域連携プラットフォーム」の地域の課題解決事業に参加し、大分県の新型コロナウイルス感染症患者の後遺症の研究を実施するなど、地域医療の向上に大きく貢献していること。
- ③高額な受託研究費を獲得していた教員の退職はあったが、大学全体で補助金や科研費等に積極的な応募を行うことで、前年度を大幅に上回る6千万円を超える外部資金を獲得していること。

### Ⅲ 県有地の信託に係る事務の 処理状況報告概要書



# 県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

(課・室名) 商工観光労働企画課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	県有地の信託																								
2	事業内容	<p>1 土地 7,383㎡</p> <p>2 建物 大分ソフィアプラザビル（昭和63年4月1日開業） 鉄筋コンクリート造 地上4階建 大分第2ソフィアプラザビル（平成5年4月1日開業） 鉄筋コンクリート造 地上7階建</p> <p>3 土地信託契約内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託者 三井住友信託銀行株式会社</li> <li>・信託期間 昭和62年2月4日～令和10年8月15日（41年間）</li> <li>・信託報酬 （賃料+駐車場料）×2.5%</li> <li>・貸室条件 情報通信関連企業、知事が認める企業</li> </ul>																								
3	4年度決算状況	<p>1 令和4年度決算</p> <table border="0"> <tr> <td>収 入</td> <td>394,655千円</td> <td rowspan="2">利益処分計算</td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>146,816千円</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>247,839千円</td> <td rowspan="5">                     借入金敷金等返済金 55,720                      資本的支出 35,370                      修繕積立金 115,668                      敷金等返還準備金 7,000                      共益費会計余剰金 34,081                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">2 借入状況（受託者による資金の借り入れ）</td> </tr> <tr> <td>・令和4年度返済金額</td> <td>58,390千円</td> </tr> <tr> <td>・令和4年度末借入残高</td> <td>297,262千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（内訳）</td> </tr> <tr> <td>〔 三井住友信託銀行</td> <td>148,631千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〔 大分銀行</td> <td>148,631千円</td> <td></td> </tr> </table>			収 入	394,655千円	利益処分計算	支 出	146,816千円	当期純利益	247,839千円	借入金敷金等返済金 55,720 資本的支出 35,370 修繕積立金 115,668 敷金等返還準備金 7,000 共益費会計余剰金 34,081	2 借入状況（受託者による資金の借り入れ）		・令和4年度返済金額	58,390千円	・令和4年度末借入残高	297,262千円	（内訳）		〔 三井住友信託銀行	148,631千円		〔 大分銀行	148,631千円	
収 入	394,655千円	利益処分計算																								
支 出	146,816千円																									
当期純利益	247,839千円	借入金敷金等返済金 55,720 資本的支出 35,370 修繕積立金 115,668 敷金等返還準備金 7,000 共益費会計余剰金 34,081																								
2 借入状況（受託者による資金の借り入れ）																										
・令和4年度返済金額	58,390千円																									
・令和4年度末借入残高	297,262千円																									
（内訳）																										
〔 三井住友信託銀行	148,631千円																									
〔 大分銀行	148,631千円																									
4	問題点及び懸案事項	今後数年において、大規模な設備の更新や改修が必要。																								
5	対策及び処理状況	<p>更新や改修が必要な設備等については、受託者と協議しつつ、随時対応していく。</p> <p>【参考：入居率の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>83.8%</td> <td>85.5%</td> <td>96.7%</td> <td>95.4%</td> <td>95.9%</td> <td>94.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※令和5年度見込み</p>			H30	R元	R2	R3	R4	R5※	83.8%	85.5%	96.7%	95.4%	95.9%	94.0%										
H30	R元	R2	R3	R4	R5※																					
83.8%	85.5%	96.7%	95.4%	95.9%	94.0%																					

